



徳島県美術家協会

美術年報

2013

目次

はじめに	徳島県美術家協会会長 河崎 良行	1	
徳島県美術家協会規約		3	
後援承認事務取扱規定		4	
後援名義使用承認申請書様式		5	
平成 23 年度事業報告		7	
平成 24 年度役員名簿		10	
平成 24 年度各部役員名簿		11	
第 20 回放美展記録		16	
第 20 回放美展出品・入選等状況		22	
第 20 回放美展公募規定		23	
第 67 回徳島県美術展記録		24	
第 67 回徳島県美術展出品・入選等状況		32	
第 67 回徳島県美術展公募規定		33	
徳島県美術展審査員一覧		34	
徳島県美術展開催運営要項		38	
第 8 回徳島県子ども美術展出品・入選等状況		42	
平成 24 年各部記録			
・日本画部	部会長 西野 和男	44	
・洋画部	部会長 榎田 務	46	
・写真部	部会長 上野 照文	54	
・彫刻部	部会長 松永 勉	59	
・美術工芸部	部会長 七條猪三郎	63	
・書道部	部会長 荒井 彭仙	67	
・デザイン部	部会長 田中 一郎	73	
平成 24 年度会員名簿			
・日本画部	78	・美術工芸部	86
・洋画部	79	・書道部	88
・写真部	82	・デザイン部	98
・彫刻部	86		

あとがき

はじめに

昨年は、第27回国民文化祭・とくしま2012が開催された。徳島県では2007年以来二度目の開催であり全国初のことである。

今回は、「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「阿波踊り」「ベートーベンの第九」の4大テーマを掲げ、県内各地で多くのイベントが繰り広げられた。このテーマに則した分野では盛大な催しが多く、全国にアピールすることとなり、伝統的領域では歴史の再確認や継続についての認識を深めるよい機会になった。特に徳島が誇る藍に関しては、伝統の素材や技法を生かし、阿波藍の文化に現代性や機能性について、新しい方向性を示した「このまちの色」展は注目度が高いものであった。

このような中、第67回徳島県美術展は、国民文化祭の分野別フェスティバル事業に徳島新聞社との共催で参加した。今回の国民文化祭の美術展は、前回のように独自の企画ではなく全国に向けての発信とはいかなかったが、徳島県美術展では各部門に国民文化祭の4大テーマにちなんだ国文祭賞が贈られることになり、出品者にとっては、徳島の伝統や文化をもとに造形表現におけるテーマ性を改めて考えさせられるよい機会になったと思われる。

出品状況については、開催が10月ということもありイベントの多い時期と重なったが、例年並みの2,198点の出品があった。入選率は昨年とほぼ同様の平均38.3%という厳しい審査結果であったが、それだけに選ばれた作品はいずれも質が高く徳島新聞に掲載された審査評では「中央展レベル」「期待以上の力作」などの好評がありレベルの高さが伺えた。個別の作品では、デザイン部門特別賞の佐々木さんの作品「考察I」は、「プロの作品かと思った」との審査員のコメントが印象に残っている。また、彫刻部門で特別賞に選ばれた武田さんの作品「reflection」は、この連作で昨年の二紀展（国立新美術館）において準会員賞を受賞し、中央展レベルの評価を裏付けることになった。他の部門の会員においても年々その活動枠を広げて、全国的な活躍の様子は本誌の各部会のページで紹介されているとおりであり、今後ますますの発展が期待される。

第8回徳島県こども美術展（こども県展）も徳島県美術展と同様に国民文化祭の分野別フェスティバルに、徳島新聞社との共催で参加した。絵画（版画・デザインなどを含む）と書道（毛筆）の両部門に9,929点の応募があり、1,489点が入賞・入選した。また、4大テーマにちなんで同時に募集した特別企画展には、小・中学生から5,364

点の作品が寄せられ、絵画 74 点、書道 148 点の入賞・入選作品が展示された。

一般の方々には、小・中学生の作品を鑑賞する機会は少ないが、小・中学生ならではの感性をもって、繊細に描き込まれたものから、力強い大胆な表現まで、多くの個性的な作品に出会うことができた。アートは作者の年代に応じて、それぞれの相互理解のための固有の表現手段を持っていることを示しており、「美術と教育」は、日本の文化力の原点であるとの思いを改めて強く感じた。

第 20 回放美展は、例年の四国放送との共催に加え、阿波銀行に特別協賛をいただき、あわぎんホールで開催した。応募作品は 1,153 点で、入賞を含めた 524 点が入選となった。放美展は毎年 5 月に開催されることから、春季の総合美術展として広く県民に親しまれている。今回の会期中にも多くの方々が会場に足を運び、真剣に鑑賞されていた。すべての人間は潜在的に芸術を創り出し、体験し、鑑賞する能力があると言われるが、さらに多くの県民に働きかけ、アートを通して地域の活性化に努めていきたい。

最後になりましたが、本年度事業の実施にあたり貴重な御意見や多大なる御尽力をいただいた徳島県、徳島新聞社、四国放送並びに徳島県美術家協会の関係各位に心から感謝の意を表したい。

平成 25 年 3 月

徳島県美術家協会会長

河崎 良行

徳島県美術家協会規約

昭和	23.	9.	12	規約制定
	32.	7.	14	新規約制定
	33.	4.	29	規約一部改正
	42.	4.	23	〃
	46.	4.	29	〃
	47.	5.	29	〃
	49.	8.	22	〃
	52.	7.	23	〃
	56.	5.	5	〃
	58.	6.	5	〃
	61.	6.	21	〃
平成	4.	6.	27	〃
	6.	6.	25	〃
	10.	6.	27	〃
	24.	6.	9	〃

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻

⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

(イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会

(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長 副会長（2名） 事務局長

理 事（若干名） 監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1

名選出できる。

第9条 理事会及び部会長は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

部会長・委員（部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない）

部監事（2名）

事務局員（2名）

役員は部総会で選出する。役員任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッチを選定（図案は鬼塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～5名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

後援承認事務取扱規定

(趣旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

平成 年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

電話番号 _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続 （該当に○印をつけてください）

行 事 名	
開催日時（期間）	平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）
開 催 場 所 名	
開催場所所在地	
共 催 団 体 名	
他の後援団体名	
入 場 料	有（詳細を記入： _____） ・ 無
後援承認通知書 送付先住所氏名	〒 _____ 氏名 _____
行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください）	

注 1) 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

注 2) A4 に拡大コピーして申請書としてご使用ください

平成 23 年度事業報告

(1) 総 会 ◇平成 23 年 6 月 4 日 (土)

- ◇あわぎんホール 5F 第 6 会議室
- ◇平成 22 年度事業報告及び決算報告
- ◇監査報告・承認
- ◇役員改選
- ◇平成 23 年度事業計画及び予算審議
- ◇その他

(2) 第 19 回放美展

- ◇平成 23 年 5 月 2 日 (月) ～ 6 日 (金)
- ◇あわぎんホール 3F 全展示室及び 4F 会議室 (会議室 2 ～ 4)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの 607 点展示
- ◇受賞者表彰式 平成 23 年 5 月 5 日 (木) あわぎんホール

(3) 第 66 回徳島県美術展

- ◇第 1 期 平成 23 年 10 月 8 日 (土) ～ 16 日 (日)
あわぎんホール 3F 全展示室及び 4F 会議室 (会議室 2 ～ 4)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの 562 点展示
- ◇第 2 期 平成 23 年 10 月 18 日 (火) ～ 25 日 (水)
あわぎんホール 3F 全展示室
書道の 414 点展示
- ◇受賞者表彰式 平成 23 年 10 月 16 日 (日) あわぎんホール

(4) 第 7 回徳島県子ども美術展

- ◇平成 23 年 10 月 14 日 (金) ～ 18 日 (火)
- ◇あわぎんホール 4F 大会議室
徳島県内に在学する小・中学生の絵画・書写 10,645 点展示
- ◇受賞者表彰式 平成 23 年 10 月 16 日 (日) あわぎんホール

(5) 関係会議 ◇部会長会 (23.7.23)

- ◇部会長会 (23.7.30)
- ◇部会長会 (23.8.17)

- ◇県展運営委員会・県展事務局員会議 (23.8.26)
- ◇部会長会 (23.9.14)
- ◇放美展運営委員会 (24.1.11)
- ◇部会長会 (24.1.11)
- ◇県展運営委員会・県展事務局員会議 (24.2.24)
- ◇理事会 (24.3.24)

- (6) **各部会行事**
- ◇洋画部 第25回洋画部会員展 (23.6.30～7.3) あわぎんホール
 - ◇写真部 世界遺産奈良撮影会 (23.6.26)
 - ◇デザイン部 「キズナ～Pray for JAPAN～」ポスター展 (23.6.23～26)
徳島県立近代美術館ギャラリー

- (7) **各種後援**
- ◎第8回書朋六人展 (23.4.1～3)
 - ◎第2回武市鳴雲書作展 (23.4.2～4)
 - ◎第51回写楽会写真展 (23.4.8～10)
 - ◎第13回大貝久義個展 (23.4.13～30)
 - ◎第19回三美書研展 (23.4.15～17)
 - ◎第2回鳴門水彩美学展 (23.4.16～21)
 - ◎第12回ニッコールクラブ徳島支部写真展 (23.4.22～24)
 - ◎第23回睦月会書展 (23.4.27～29)
 - ◎第22回燎4人展 (23.5.26～30)
 - ◎徳島アート21第9回展 (23.6.1～5)
 - ◎第34回八紅展 (23.6.9～12)
 - ◎第29回徳島平和美術展 (23.6.9～12)
 - ◎第34回写真同人炎作品展 (23.6.10～12)
 - ◎キズナ～Pray for JAPAN～ (23.6.23～26)
 - ◎第10回合同絵画展 (23.6.24～26)
 - ◎吉野川市文化協会第7回総合美術展 (23.7.16～18)
 - ◎第70回世代美術展 (23.7.21～24)
 - ◎第32回東光会徳島支部展 (23.7.22～24)
 - ◎第25回四国大学書道文化学科教員展 (23.7.26～31)
 - ◎第24回長玄書道会展 (23.8.5～7)
 - ◎第41回直心会書展 (23.9.2～4)
 - ◎第75回書芸院展 (23.9.8～11)

- ◎ 67 回青美展 (23.9.8 ~ 11)
- ◎ 第 56 回書協人展 (23.9.9 ~ 11)
- ◎ 第 40 回徳島雪心会書作展 (23.9.17 ~ 19)
- ◎ 第 6 回写真同人「光」写真展 (23.9.19 ~ 23)
- ◎ 第 4 回徳島油彩美学展 (23.9.27 ~ 10.2)
- ◎ 第 10 回記念一心会書展 (23.9.30 ~ 10.2)
- ◎ 第 1 回徳島スケッチを楽しむ作品展 (23.10.4 ~ 9)
- ◎ 第 15 回旺美展 (23.10.6 ~ 12)
- ◎ 第 17 回徳島障害者芸術祭エナジー 2011 (23.10.18 ~ 23)
- ◎ 第 17 回六書会書展 (23.10.21 ~ 23)
- ◎ 第 26 回藍美展 (23.10.28 ~ 30)
- ◎ 第 41 回芳藍書道展 (23.11.18 ~ 20)
- ◎ 第 9 回徳島版画展 Tokushima2011PrintWorks (23.11.23 ~ 27)
- ◎ 第 2 回木田英之塾写真展「阿南の自然」 (23.11.28 ~ 12.12)
- ◎ 第 15 回せゝらぎ書展 (23.12.2 ~ 4)
- ◎ 第 16 回尚真書展 (23.12.9 ~ 11)
- ◎ 書道企画展「徳島県高校生第 1 回書道席書創作コンクール」 (23.12.10 ~ 18)
- ◎ 第 32 回臨池書展 (23.12.16 ~ 18)
- ◎ 第 40 回歳末チャリティー作品・色紙即売展 (23.12.17 ~ 19)
- ◎ 第 4 回徳島絵画美術展 (23.12.22 ~ 25)
- ◎ 第 2 回三塊書展 (24.1.13 ~ 15)
- ◎ 第 17 回悠美展 (24.1.27 ~ 29)
- ◎ 第 36 回東玄書道会展 (24.1.27 ~ 29)
- ◎ 第 37 回四国大学書道文化学科卒業制作展 (24.2.9 ~ 14)
- ◎ 第 43 回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (24.2.10 ~ 12)
- ◎ 第 26 回正鋒会書展 (24.2.17 ~ 19)
- ◎ 第 32 回書研社展 (24.2.24 ~ 26)
- ◎ 第 46 回書道研究清潮書作展 (24.3.9 ~ 11)
- ◎ 美術文化徳島支部展 (24.3.9 ~ 13)
- ◎ 徳島大学書道部・OB会書作展 (24.3.16 ~ 18)
- ◎ 第 3 回徳島北高等学校美術部書道部展 (24.3.23 ~ 25)
- ◎ 五果会書道展 (24.3.30 ~ 4.1)

平成24年度 役員名簿

<p>会 長 河 崎 良 行</p> <p>副会長 春 藤 大 耿</p> <p>〃 西 南 龍</p> <p>理 事 西 野 和 男</p> <p>〃 橋 本 正 弘</p> <p>〃 中 川 健</p> <p>〃 岡 英 彦</p> <p>〃 梶 田 務</p> <p>〃 黒 崎 志 郎</p> <p>〃 松 川 寛</p> <p>〃 露 口 敏 幸</p> <p>〃 田 中 シゲミ</p> <p>〃 上 野 照 文</p> <p>〃 橋 本 圭 祐</p> <p>〃 井 藤 光 章</p> <p>〃 林 敏 彦</p> <p>〃 増 田 寿</p> <p>〃 松 永 勉</p> <p>〃 鎌 田 邦 宏</p> <p>〃 井 下 俊 作</p> <p>〃 上 月 佳 代</p> <p>〃 七 條 猪三郎</p> <p>〃 山 上 馨</p> <p>〃 多智花 佐代子</p> <p>〃 松 下 雄 介</p> <p>〃 荒 井 彭 仙</p> <p>〃 隅 田 英 二</p> <p>〃 竹 田 和 代</p> <p>〃 薄 田 玲 泉</p>	<p>理 事 能 仁 華 瑤</p> <p>〃 田 中 一 郎</p> <p>〃 福 井 章</p> <p>〃 坂 本 三千一</p> <p>〃 沢 口 功</p> <p>監 事 佐 藤 隆</p> <p>〃 森 賢 一</p> <p>顧 問 西 條 征 二</p> <p>〃 長 尾 弘 子</p> <p>〃 佐 野 比呂志</p> <p>〃 櫛 渕 魏</p>
--	--

平成 24 年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	西野和男
委員	長尾弘子
〃	橋本正弘
〃	中川健
〃	岡英彦
〃	土井洋子
〃	土方るみ子
〃	日浦猛史
監事	長谷壽
〃	中西芳雄

洋画部

部会長	榎田務
委員	佐野比呂志
〃	松川寛
〃	黒崎志郎
〃	河田安市
〃	中辻奈美枝
〃	西川周三
〃	玉田秀子
〃	露口敏幸
〃	越久高照
〃	鈴木敬子
〃	宇高桂子
〃	嵯峨潤三
監事	田中シゲミ
〃	伊勢浩章

写真部

部会長 上野照文
 委員 橋本圭祐
 " 井藤光章
 " 林敏彦
 " 増田寿
 " 古井謙吉
 " 田村泰弘
 " 伊達照子
 " 大和健司
 " 森住博
 " 佐治孝
 " 川真田慶治
 " 堀口幸男
 " 野藤みきよ
 " 梅本貞範
 " 岩崎英昭
 " 平野史子
 " 賀川泰広
 " 西野倫子
 " 船越正文
 " 大津勝治
 " 武地雅
 " 土橋成行
 " 野口佳一
 " 三木理司
 " 森内昭男
 監事 井上憲治
 " 阿部啓三

彫刻部

部会長 松永勉
 委員 河崎良行
 " 濱口惠
 " 佐藤隆
 " 井下俊作
 " 鎌田邦宏
 " 東光司
 監事 居上真人
 " 上月佳代

美術工芸部

部会長 田七 條 猪三郎
 委員 山 上 馨
 " 矢 野 款 一
 " 幸 多智花 佐代子
 " 松 下 雄 介
 " 大 松 下 慶 一
 " 橘 惠
 " 森 賢 一
 " 吉 田 敏 明
 " 齋 藤 和 彦
 " 藤 井 哲 信
 監 事 森 明 治
 " 犬 伏 絢

書道部

部会長 荒 井 彭 仙
 委員 東 南 光
 " 伊 丹 東 龍
 " 龜 石 文 苑
 " 河 野 真 流
 " 近 藤 静 苑
 " 清 水 桂 月
 " 島 田 小 園
 " 春 藤 大 耿
 " 隅 田 英 二
 " 武 市 鳴 雲
 " 竹 田 和 代
 " 多 田 清 芳
 " 玉 城 乾 香
 " 中 尾 勝 子
 " 長 原 皋 聖
 " 永 松 春 苑
 " 西 南 龍
 " 能 仁 華 瑤
 " 長 谷 美 峰
 " 浜 佳 香
 " 前 川 古 舟
 " 美 馬 幾 美 賀
 " 宮 井 青 雨
 " 山 口 華 城
 " 青 木 東 原
 " 馬 居 汀 香
 " 大 下 江 波
 " 山 沖 田 唐 谷
 " 川 上 虹 泉

委員	河野多美
"	川村春琴
"	駒田水洸
"	洲崎忠峰
"	鈴木惠理
"	高田青蓮
"	谷口清水
"	林美雪
"	福永美泉
"	藤村柳葉
"	南溪石
"	赤川景舟
"	東弥生
"	井上虹雨
"	上田輝芳
"	内田麻紀
"	阿部博子
"	岡島順子
"	加村喜美子
"	河野静江
"	倉本景雨
"	下村清子
"	鈴木美音子
"	富久鳴泉
"	中谷史子
"	藤原育代
"	宮守崇流
"	向井京子
"	森光翔
"	山本景琴
"	岩本志豪

委員	大西清葩
"	川端康清
"	川又晃容
"	岸綠香
"	幸田清尚
"	芝原醒鶴
"	高瀬大峯
"	玉城乾舞
"	長原阜月
"	仁木志香
"	平岡幽琴
"	福山阜伶
"	丸岡香貞
"	丸田惠風
"	森本成玉
"	山口幽徑
"	日下溪翠
"	原田霄月
監事	三浦富美代
"	薄田玲泉

デザイン部

部会長	田 中 一 郎
委 員	坂 本 三千一
〃	福 井 章
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
〃	北 島 豊 嗣
〃	四十宮 隆 志
〃	斎 藤 志津子
〃	西 林 良 枝
監 事	斎 藤 繁 次
〃	坂 野 美恵子

第 20 回放美展記録

会 期 平成 24 年 5 月 2 日 (水) ~ 6 日 (日)

会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

日本画

[審査員] 中川 健 土方るみ子 中西 芳雄
[運営委員] 西野 和男 長谷 壽
[美協理事] 岡 英彦
[放美賞] 川真田哲雄
[優秀賞] 河野 陽香
[梅岡トヨ賞] 神取加奈子
[阿波銀行賞] 植田 忠生
[入 選] 今治 豊子 新田カツ子 中嶋 昌子 森本 秀代 糀 智子
中村 繁子 西岡 ちほ 岩脇 恵子 天羽 弘毅 西岡 彩乃
佐藤 愛弥 相良 菜穂 水田 貴子

洋 画

[審査員] 黒崎 志郎 栢田 務 中辻奈美枝
[運営委員] 玉田 秀子 西川 周三
[美協顧問] 佐野比呂志
[美協理事] 露口 敏幸 松川 寛
[無鑑査] 田中 康子 野口 暁子
[放美賞] 武田 洋子
[優秀賞] 井関久美子 坂東 弘子 北村 照子 村崎 恵子 黒島 貞子
米沢 博 市原 幸子
[梅岡トヨ賞] 齋藤 理沙
[阿波銀行賞] 北原安鶴紗
[入 選] 鈴木 敬子 細谷 孝子 脇本 清美 阿部 末美 小笠原秋子

岩井 千晴	杉本 祥子	新藤佐代子	山口 興一	藤本 誠子
林 敏雄	林 静代	久保 和子	白草 由子	西川 照美
竹原 良亮	田中 敏雄	高橋 都子	和田 寿子	林 茂子
米津 良子	土橋 正子	佐々木公子	蔭山賀代子	ヴィック・ミンガト
服部 和代	境 あずさ	中川 清隆	東原 綺子	前川フキ子
阿部 幸子	日野 邦恵	眞鍋たえ子	野口 義仁	村川 千代
下内 一弘	吉岡 厚子	遠藤 博之	山口 明美	立石かよ子
嵯峨 潤三	篠原 理沙	南東 陽美	有吉かな子	新納 千尋
米原 志織	小川 美優	横井嘉世恵	近藤 克子	東 美旺花
川島 颯記	岩本 知佳	青木 成実	近藤 澄子	丸関 朋子
養手日登美	野上 恵子	山崎 佳織	大西 道夫	田中 和子
前川 富子	長坂 芳子	みたおさむ	川東 妙子	乾 弥生
富永トモ子	谷 愼也	瀧川 勝雄	尾浦 粹子	篠原 稔

写 真

[審査員]	井藤 光章	橋本 圭祐	大和 健司		
[運営委員]	上野 照文				
[美協顧問]	西條 征二	柳 澗	魏		
[美協理事]	増田 寿				
[無鑑査]	梅本 貞範	佐治 孝	野口 道子	平野 史子	森内 昭男
	根ヶ山 治				
[遺作]	荒井 賢治				
[放美賞]	田中 伸廣				
[優秀賞]	根ヶ山美江	福見 尚美	岡本 早苗	平田真紀代	熊谷美智子
	山上 道子	猪熊 恵子	山口 正明	棚橋 仁志	野藤みきよ
	榎本 真悟	稲垣 喜修	大西 忠	林 好一	古字 智子
	島 廣幸	鍋島治世子	井上 秀人		
[阿波銀行賞]	小阪 愛				
[入選]	早瀬 茂	谷 嘉明 ⁽³⁾	林 広司 ⁽²⁾	滝島 豊美	岸 和幸
	森本 俊明	谷 賢太郎 ⁽²⁾	根ヶ山美江	辻 義徳 ⁽²⁾	福井 純子 ⁽²⁾

福井 邦博	梶本 義人	樋口 義矩	岩本 宏子(2)	森住 孝義(2)
米塚 稔	阿部 美昭	山田 喜吉	岡本 早苗(2)	住友 登
藤本 良輔	土橋 成行	大津 勝治	堤 信寿(2)	橋本 勝(2)
幾田 茂仁(2)	富岡佳代子	泉 清美	富樫 晁(2)	佐藤 義雄
山上 堯	賀川 泰広	佐藤 康之	妹尾 隆浩	西條 圭二
山口 正明(2)	高橋 一恵	棚橋 仁志	志摩 育美	伊達 照子
辺見 博子	渡邊 信二(2)	常陸 章	郡 英明(3)	福居 幹夫
南 敦子	松原 玲子	新居 奏	秋山 修一(2)	増谷 好子
松家 安信	原田 章一(2)	四宮 清文	松村久美子	松崎 真弓
後藤田清子(2)	中村真智子	春田 操	久保 朋也(2)	大和 章人(2)
富加見美枝	野藤 敏美	中野 久世(2)	松浦 昭代	圓藤由貴子(2)
川人 富之	上野 博子	今出 弘(2)	西岡まゆみ	佐藤 進
川西 明雄	村山 松子	橋本 雅子(2)	稲垣 喜修	中野みどり
大西 啓子(2)	小川 岩雄	林 好一	二階 博司	長尾 守
姫野 博司(2)	宮前 稔	加藤 千明	古字 智子(2)	鳥井 敬一(2)
山下 助信	山下 修司	織野 明弘(2)	高木 信昭(2)	平澤 澄子(2)
長浦 武尚	平澤 昭世	中山 洋三	高曾根信義(2)	辻 絹子(2)
村田 勝夫	新田 晃	正岡 和士	上杉 大一(2)	

彫 刻

[審査員]	長岡 強	濱口 恵	松永 勉		
[運営委員]	鎌田 邦宏				
[美協会長]	河崎 良行				
[無鑑査]	武田亜希子				
[放美賞]	大貝 寿子				
[優秀賞]	矢野 愛恵				
[梅岡トヨ賞]	長田 寛人				
[阿波銀行賞]	井上 三月				
[入選]	大貝 寿子	井上 奈美	佐治たかし	服部 佳弘	稲井 彩英
	岡脇まり耶	野田 猛	野方 健司	米澤 慶真	

美術工芸

[審査員]	多智花佐代子	松下 雄介	森 賢一		
[運営委員]	橘 惠				
[無鑑査]	加藤 伴江	吉田 陽子			
[放美賞]	鈴江 美佐				
[優秀賞]	南 泰樹	大貝 寿子	久保 英樹	近藤佐起江	東條 容子
	中西 達也				
[梅岡トヨ賞]	石本都幾乃				
[阿波銀行賞]	前田 一美				
[入選]	南 泰樹	南 郁代 ⁽²⁾	大貝 貞雄 ⁽²⁾	大貝 寿子	浅山 義明
	石井 春夫	藍原 房補	田中木美子	木村 秋夫	上野 美子
	平尾 静子 ⁽²⁾	平瀬 進也	久保 英樹	武岡 博美	北町 裕子
	大草 幸子	阿部 能則 ⁽²⁾	下内 良一	松本 宏	小林 善治
	秦 信子	遠藤 好子 ⁽²⁾	遠藤 勇	白田 明代	板東 健三
	向 紫	阿部 巍 ⁽²⁾	四宮 千代	村川 栄一	大井川良江 ⁽²⁾
	相原 良平	高瀬 裕司	手塚 健一	梶原 浩二	原田 明子
	工藤 芳栄	筒井 節子	武田 潤子	大内 敏男	藤中 教代
	萬藤 武徳	板東 啓子	北野 孝司	佐藤 美枝	森 克江
	松永 卓司	阿部まきみ	前田 道子	小川 光	青木 壽美
	宮本 薫	巽 安子	横井嘉世恵	松本みづる	野口 茜
	後藤田優香	桜井 弘子	西 美稚子	竹治 敦子	櫻間 修子
	中島輝代子	新見 道代	久米 和子	河野 美枝	鳥井 明子
	小林 貴代	谷崎 美恵	瀬山 佳枝	前野 亮治	近藤美佐子
	矢野 藍游 ⁽²⁾	林 滋子	山下壽美代	家形笑美子	木田サチコ
	稲井 峰子	山本 稀仁	松岡 芳一	西内 貞二	横畠 寛
	大西 道夫	千葉 徹	谷中 弘子	上田 優	ルドルフ
	眞鍋 謙弘	九鬼 公香	清原 眞弓		

書道

[審査員]	荒井 彭仙	河野 真流	能仁 華瑤			
[運営委員]	岩本 志豪	宮守 崇流				
[美協副会長]	西 南龍	春藤 大耿				
[美協理事]	竹田 和代					
[遺作]	勝瀬 景流					
[放美賞]	児玉 幸子					
[優秀賞]	上野 益泉	野口 有香	一宮 堆川	河野 梅子	益岡 輝実	
	井上 景玄	佐野 恵月	正見 千恵			
[梅岡卜三賞]	石田 杏奈					
[阿波銀行賞]	萩原 礼恵					
[入選]	洲崎 忠峰	辻 光石	仁木 光華	近藤 京子	西改 俊子	
	小谷 桂甫	栗本 美樹	野口 愛佳	岡本 紗耶	河野 薫子	
	佐竹 夏実	岸 浜子	大和 公代	福家 美鵬	弘田 彩	
	渡部 敦子	清水 宏子	柳本 真苑	松田 理芳	西村 珠希	
	田村 元帥	藤永 真里	中山 菜生	石川 翔子	丸岡 真弓	
	三原 京子	天羽 汕景	吉田 拓未	山本 実里	速水 春香	
	秋山 芙美	木内 梓	前田あゆみ	樽井 沙和	平田 真紀	
	森本 青雲	大本 華越	後藤田柏清	百合 玲一	荒井 和苑	
	足利 元子	遠藤 愛子	遠藤智津子	瀬山 花郷	三好 元子	
	中川 舞香	瀨 ちなみ	益井 綾香	大木 絢音	柴折真悠子	
	佐川 仁美	新居 千愛	武市香於里	武智 由奈	中村 成葉	
	小林 優香	田村耕一郎	河野 真依	中村 絢子	四宮 仁苑	
	福島 可琳	米澤 優香	戸出 芳泉	糺 真理子	関 幸峰	
	山蔭 玲翠	加藤 千枝	東 久子	青山 香乃	土井 英恵	
	山本 直美	忠津 絹恵	黒田 星翠	橋本 悠石	大櫛 愛子	
	大塚 康代	漆原 早月	藤田 菜那	町田 咲季	加藤 彩誇	
	小野 宙成	春川 青超	川端 康清	坂尾 竟成	森本 成玉	
	遠藤 禎子	荒井 遥風	今治 宏美	大石 正	川又 晃容	
	桑村 清	幸田 清尚	高瀬 大峯	茶谷 文子	茶谷 幸恵	
	新居恵美子	吉田さい子	和田 白溜	松本 華奈	梶川 佳奈	

デザイン

[審査員]	福井 章	四十宮隆志			
[運営委員]	吉本 實				
[美協理事]	坂本三千一	沢口 功			
[放 美 賞]	谷中 咲慧				
[優 秀 賞]	東 早紀	梅津 洋子	小川 菜々	斎藤真梨子	
[梅岡トヨ賞]	久米 紗代				
[阿波銀行賞]	池北 葉月				
[入 選]	林 敏雄	須藤 政代	森岡 真菜	田村 あい	仁尾 晴香
	三木由佳里	藤崎まり菜	岡久 彩香	松田 聖人	上泉明日香
	後藤 可奈	松原 加奈	猿瀧 正和	三角 菜摘	藤田 彩花
	北野 智也	山根 愛佳	中原 恵莉	埴渕 照二	近藤 愛
	粟野 優里	河野 千咲	黒田なつみ	矢野ほのか	板谷 優菜
	安田 菜月	湊 明日香	中山 実樹	神東 琴音	池田 ゆか
	長尾 憲樹	荒井 紗英	尾上美紗樹	村瀬 友理	川島 夕佳
	松原 彩音				

第 20 回放美展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分	出品点数	24	185	460	18	157	211	98	1,153
	出品者数	24	153	185	17	108	166	94	747
入賞・入選	放美賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優秀賞	1	7	18	1	6	8	4	45
	梅岡トヨ賞	1	1	0	1	1	1	1	6
	阿波銀行賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入選数	13	70	135	9	96	100	36	459
	計	17	80	155	13	105	111	43	524
	入選率	70.8	43.2	33.7	72.2	66.9	52.6	43.9	45.4
選外	落選数	7	105	305	5	52	100	55	629
	落選率	29.2	56.8	66.3	27.8	33.1	47.4	56.1	54.6
無審査出品	審査員	3	3	3	3	3	3	2	20
	運営委員	2	2	1	1	1	2	1	10
	美協役員	1	3	1	1	0	3	2	11
	無鑑査	0	2	9	1	2	1	0	15
	計	6	10	14	6	6	9	5	56
展示数		23	90	169	19	111	120	48	580

第 20 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋画	写真	彫刻
書類受付期限	平成 24 年 4 月 6 日 (金)			
搬入日	平成 24 年 4 月 29 日 (日・祝)			
搬入場所	あわぎんホール (県郷土文化会館) 3 階展示室			
審査日	平成 24 年 4 月 29 日 (日・祝)			
審査員	中川 健 土方るみ子 中西 芳雄	黒崎 志郎 柘田 務 中辻奈美枝	井藤 光章 橋本 圭祐 大和 健司	長岡 強 濱口 恵 松永 勉
出品料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内			
	<ul style="list-style-type: none"> ・最小：額縁の幅を除く画面が 70cm × 47cm 以上 ・最大：額縁を含む縦、横の一边が 130cm 以内 ・額装 ・裏面に吊り紐 ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない 	<ul style="list-style-type: none"> ・最小 20 号 (版画は最小 10 号) ~ 最大 50 号以内 (ただし S 型は 30 号が上限) ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない (ただし、水彩画、版画はアクリルに限り可) ・額装 ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> ・単写真・組写真とも半切及び A3 から全倍サイズで、画面の長辺が 40cm 以上 80cm 以内 ・スクエアサイズ (正方形) は 1 辺が 30cm 以上 50cm 以内 ・組写真は 1 パネル (90cm × 180cm 以内) に全作品を固定 ・作品はパネル貼りし、額装は禁止 (ガラス、アクリル装箱、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可) ・組写真は 1 パネル (90cm × 180cm 以内) に全作品を固定したもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・あわぎんホール (県郷土文化会館) のエレベーターに収容可能な大きさ ・100kg 以内 ・展示に危険を伴わないもの
入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・梅岡トヨ賞 各部門 1 点 (高校生・高専生の入選者から選出) ・阿波銀行賞 各部門 1 点 			

部門 区分	美術工芸	書道	デザイン
書類受付期限	平成 24 年 4 月 6 日 (金)		
搬入日	平成 24 年 4 月 29 日 (日・祝)		
搬入場所	あわぎんホール (県郷土文化会館) 3 階展示室		
審査日	平成 24 年 4 月 29 日 (日・祝)		
審査員	多智花佐代子 松下 雄介 森 賢一	荒井 彰仙 河野 真流 能仁 華瑠	福井 章 四十宮隆志
出品料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内		
	<ul style="list-style-type: none"> ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・平面作品は縦 180cm × 横 150cm 以内 ・展示可能な用具を必ずつけ、前後がわかるように明示すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・0.85㎡ 以内 (例 / 半切 + 半切 3 分の 1、全紙 2 分の 1) ・額装 ・裏面に吊り紐 ・申込書に種別を、裏面に積文を記載のこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィックデザインに限るとし、原画の材質は問わない ・B1 サイズ (728mm × 1,030mm) で厚さ 5mm から 75mm 以内、外枠 (幅 20mm 以内) を含めた重さが 5kg 以内 ・ガラス額装は不可 ・裏在の商品名、会社名の使用は不可 (著作権、肖像権に抵触しないこと) ・裏面に吊り紐
入賞	<ul style="list-style-type: none"> ・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・梅岡トヨ賞 各部門 1 点 (高校生・高専生の入選者から選出) ・阿波銀行賞 各部門 1 点 		

- 注 1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担 (梱包料金) で返送する

第 67 回徳島県美術展記録

会 期 第 1 期 平成 24 年 10 月 13 日 (土) ~ 21 日 (日)

第 2 期 平成 24 年 10 月 23 日 (火) ~ 30 日 (火)

会 場 あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

日本画

[審査員] 小山 硬

[特別出品] 西野 和男

[招待] 岡 英彦 土方るみ子 中西 芳雄 日浦 猛史

[無鑑査] 柳田 一子 坂 容子 平野 真里

[賛助出品] 長谷 壽

[特 選] 岩脇 恵子 (県教育長賞)

石原 千鶴

[準特選] 梶浦 千瑞 森崎 雅子 大塚さや香

[奨励賞] 泉 福美

[国文祭賞] 仁木 正子

[入 選] 植田 忠生 森本 秀代 川真田哲雄 中村 繁子 宮越 千佳

反田 卓 吉田 満子 水田 貴子 秋月ヒサヨ 西村美也子

田中 悦子 富永 博子 中西 優希 河野 陽香 有井 和子

大黒 規子 新居麻里子 中嶋 昌子 井上 弘子 澤 真弓

藤井 吉信⁽²⁾ 石動 智子

洋 画

[審査員] 笠井 誠一

[特別出品] 佐野比呂志 榊田 務

[招待] 清水 巫煥 楠瀬 等 露口 敏幸 長尾 弘久

[無鑑査] 玉田 秀子 林 伸也

[賛助出品] 黒崎 志郎 松川 寛 中辻奈美枝

[特 選] 福本 恵 (徳島市長賞)

犬伏美智子 細川 禮子

[準特選] 杉本 祥子 福良 哲子 野口 暁子 武田 洋子 西川 周三

東 紀美子

[奨励賞]	伊勢 浩章	答島 和年	柏木 頼子	内田 満	阿部 昌子
[国文祭賞]	和田 寿子				
[入 選]	尾浦 粹子	下内 一弘	日野貴美子	村上 富子	大串 直行
	前川フキ子	島村 英之	中野 芳輝	二階千鶴子	大津 憲文
	三谷ミヤ子	中村 俊夫	國富 未咲	林 文子	花待 昭文
	田中 敏雄	山口トシ子	米原 志織	笠井 桃子	西崎 志帆
	和田津かね子	有吉かな子	新納 千尋	藤中 美帆	藤井 文明
	森 利江	伊良原貞子	富浦 道子	天本 愛子	前野 亮治
	大西 文代	山口 雅弘	村上 富子	伊藤 紀子	福田 遼子
	大久保芳和	島津 千尋	高木 紘子	遠藤 博之	原 たず
	橋本 浩史	篠原 昭子	秦 克之	笹田 義宏	森 幸子
	倉橋 紀子	近藤 克子	山口 明美	三木 洋子	米沢 博
	鈴木 敬子	日野 邦恵	境 あずさ	佐藤 友美	加賀谷愛美
	長坂 芳子	野口 義仁	長尾賀代子	中島 洋子	馬淵 尚子
	田中 康子	岩井 千晴	米津 良子	土橋 正子	藍谷 浩平
	宮田 京子	竹内 れい	前川 富子	青木 幸子	萩原 典子
	田中千恵子	岡田 典子	宮内 一子	佐藤 敬子	眞野 尚枝
	田浦 佳江	小浜 敏也	梅津美砂代	高木 幸美	井内美智代
	田中シゲミ	新藤佐代子	吉村 朋恵	上田 幸子	佐々木公子
	乾 弥生	中内あい子	松下 総子	渡辺カツコ	嵯峨 潤三
	黒島 貞子	小笠 正明	西川 照美	小笠原秋子	手塚 充子
	北村 照子	林 静代	菊本 静子	大西 道夫	越久 高照
	仁木 英子	小泉たか子	加川由紀子	宇高 桂子	住友 義彦
	大平 妙子	広瀬 直	藤本 誠子	野上 恵子	岡本 英見
	齋藤 裕介	川上 晴美	増喜 昭文	藤井 博之	岸本 花子
	二條 均	川口 均	梅岡圭太郎		

写 真

[審査員]	大石 芳野				
[特別出品]	西條 征二	櫛淵 魏	上野 照文		
[招待]	木田 英之	勝西 雅夫	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐
	前浦 芳久	林 敏彦	古井 謙吉	井藤 光章	増田 寿
	柳本 正	大和 健司	船越 正文	堀淵 完治	岩崎 英昭
	久保 英樹				

[無鑑査]	森住 博	櫛淵 紳哉	堀口 幸男			
[遺作]	荒井 賢治					
[特選]	阿部 啓三 (徳島新聞社長賞)					
	平野 史子	大塚 尚	田中 伸廣			
[準特選]	姫野 博司	森住 啓	幾田 茂仁	南 賢治	岡本 早苗	
	宮前 稔	古岡 友子	松原 玲子	村山 松子		
[奨励賞]	福井 邦博	中山 洋三	埴淵 節子	辺見 博子	長岡 和美	
	林 広司	西岡まゆみ	今出 弘			
[国文祭賞]	吉田恵美子					
[入選]	宮本 幸治	三木 理司	井上 翔 ⁽²⁾	久我 千鶴	土橋 成行	
	国見 良幸	多田 進	四宮 清文	西岡 祥一	西野 倫子	
	平野 史子 ⁽²⁾	野藤みきよ ⁽²⁾	片山 朝生	立石 達也	多川 静守 ⁽²⁾	
	今出 弘	正見 晃章	織野 明弘	日出 顕作	湯佐 葉月	
	矢部 弘子 ⁽²⁾	棚橋 仁志	古字 智子	阿部 啓三	阿部千代恵	
	佐野 和史 ⁽²⁾	中山 洋三 ⁽²⁾	森平 重利	高曾根信義	須原 仁志	
	西條 圭二	石本 隆二	森 光	熊谷美智子	山下 助信	
	福井 純子 ⁽²⁾	福井 邦博	新田 晃	姫野 博司	斎藤 幹夫	
	高橋 一恵	村上富太郎	富岡佳代子 ⁽²⁾	福原 和代	川西 明雄	
	井上 秀人	谷 賢太郎	山口 正明 ⁽²⁾	関口つとむ ⁽²⁾	森住 孝義	
	長尾 守	妹尾 隆浩	中野みどり	小笠原弘明	古岡 友子	
	池田 啓子	平澤 澄子	佐野 里子	田中眞由美	原田 章一	
	岸田 知久	秋野 昌子	滝島 豊美	山上 堯	森 優	
	岸 和幸	佐倉 幹雄	吉村 敏嗣	岡久 吉徳	新居 庚	
	宮前 稔	大塚 尚	高木 信昭	岸田 義市	辻 義徳	
	斎藤 幸子	福田 勉 ⁽²⁾	増田 実 ⁽²⁾	大西 忠	大西 啓子	
	大和 章人	二階 博司	板東美智代	谷崎 泰司	賀川 泰広	
	武地 雅	長岡 和美	鍋島治世子	辺見 博子	市川 正二	
	山川 光麿	後藤田清子	秋山 修一	井上 壽夫	篠原 光彦	
	根ヶ山美江	松浦 孝	佐竹 治	石川 徹雄	鳥井 敬一	
	林 広司 ⁽²⁾	谷中千恵子	櫛谷 文次	喜多 昌弘	姫田 慎治	
	山下 修司	福永 豊	岩本 宏子	山下 善廣 ⁽²⁾	坂田 一郎	
	川眞田慶治 ⁽²⁾	岡本 早苗	高見喜美男	井上 憲治	田村 泰弘 ⁽²⁾	

彫刻

[審査員]	湯村 光					
[特別出品]	河崎 良行	佐藤 隆				
[招待]	井下 俊作	鎌田 邦宏	松永 勉	居上 真人	上月 佳代	
[無鑑査]	木村 大志					
[賛助出品]	長岡 強					
[特選]	武田垂希子 (四国放送社長賞)					
[準特選]	益田 耕次	東 光司				
[奨励賞]	高丸 公相	野方 健司				
[国文祭賞]	近藤 美咲					
[入選]	二宮 治夫	大貝 寿子	服部 佳弘	岡脇まり耶	近藤 照子	
	安藝 淳二					

美術工芸

[審査員]	宮田 亮平					
[特別出品]	七條猪三郎					
[招待]	多智花佐代子	松下 雄介	松下 慶一	森 賢一	橘 恵	
	犬伏 絢					
[無鑑査]	齋藤 和彦	森 明治	平井 恵子			
[賛助出品]	中川 存	矢野 款一				
[特選]	楠 博子 (県美術家協会会長賞)					
	今川 博臣					
[準特選]	吉田 陽子	木田サチコ	青木 壽美	松本 宏		
[奨励賞]	原田 明實	喜多 岩夫	小林 鳳美			
[国文祭賞]	近藤美佐子					
[入選]	吉田 陽子	近藤佐起江	前田 和子	越 由子	中西 達也	
	四十宮年代	大貝 寿子	高瀬 裕司	浅山 義明	阿部 巍	
	藍原 房補	遠藤 勇	遠藤 好子	大貝 貞雄 ⁽²⁾	家形笑美子	
	長尾 敏子 ⁽²⁾	宮本 薫	佐治 孝	四宮 千代	村川 栄一	
	稻富 弘明	穴山千代子 ⁽²⁾	小森 久子	上田 優	橋本 正子	
	妹尾 文子	高松 正彦	島本 政子	吉野 由紀	釜内 哲子	
	丸井 明	澤内 和代	阿部 能則	竹田 充子	近久千加代	
	秦 信子	鮎合 秀子	大川 雅代	新居久美子	大井川良江	

丸居 哲雄	宇都宮二美	梶本 雅樹	住 廣子	石井 春夫
松原 敦子	安富 順子	板東 啓子	仁田 和子	筒井 節子
武田 潤子	林 滋子	龍木 秀子	福本美智代	小川 光
向 紫	三好 功	手塚 健一	山下寿美代	山本 由実
谷川 博	伊藤エミ子	藤川 三世	小栗加代子	西内 貞二
多田 雅子	渡辺美恵子	加藤 伴江	清原 眞弓	藤井 哲信
真鍋 謙弘	田中木美子	吉田 眞弓	原田 明子	藤中 教代
鳥井 明子	森 克江	上野 美子	平岡英津子	矢野 藍游
天野 和子	鍋島アヤ子	石田 節子	大西 君代	大西 道夫
大内 敏男	萬藤 武徳	森本恵美子	横井嘉世恵	太田 裕子
内藤 久子	トリス・フシク	斎藤 康男	久保 英樹	梶原 浩二
松本みづる	田村栄一郎	谷崎美沙江	坪井なつき	田村 佳代
田村 純子	巽 安子			

書 道

[審査員]	西村 自耕	岩永 栖邨	西野 象山		
[特別出品]	西 南龍	春藤 大耿	荒井 彭仙		
[招待]	宮井 青雨	長原 皋聖	成尾 莊秀	原田 霄月	芝原 醒鶴
	前川 古舟	清水 桂月	美馬幾美賀	中谷 史子	長谷 美峰
	川上 虹泉	近藤 静苑	日下 溪翠	岡島 順子	竹田 和代
	山口 華城	藤若 美風	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉
	永松 春苑	島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	隅田 英二
	松本 清香	多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑤
	高田 青蓮	三浦富美代	宇山 泰鳳	亀石 文苑	岩本 志豪
	林 桂翠	山口 幽径			
[無鑑査]	宮守 崇流	向井 京子	林 美雪	長原 皋月	谷本 洋子
[贊助出品]	東 南光				
[遺作]	勝瀬 景流				
[特選]	田村富士子 (徳島県知事賞)				
	大西 好子	野口 有香	田村 元帥	仲道 裕馬	岩田美由希
	大津 明美	木田 史子			
[準特選]	川村 真澄	谷 令子	河野多美子	福家 佳余	辻 尚子
	丸瀬 裕史	金谷 亜希	向井 境子	森 裕美子	賛田美恵子
	武田 淳子	吉田さい子	東條 遥佳	島尾 明良	

[奨励賞]	満壽川愛弓	西改 俊子	佐野 陽子	東野 恵巳	遠藤 典子
	小倉 知子	田渕 勲	河野 静江	皆谷 露子	山本 恵子
	川端喜美子	朝三 和子	村田 泰輝		

[国文祭賞] 大西千鶴子

[入 選]

漢字の部

石井 瞳	河野 永子	郡 秋江	河野久美子	斎藤 裕子
澤本 鈴美	節 品子	中尾三智子	永岡ツタエ	中川 恵
平田美香子	山内希与子	吉平 順子	園尾 淑子	中村 美子
土井 和也	久米 利典	後藤 郁子	岸 浜子	大和 公代
上野 益代	大下 富江	久積富美子	奥田 文子	三崎美佐代
折野 茂幸	中川恵美子	笠原 笑子	陶久 房枝	村部 幸子
四宮 恭子	恵美 恵子	佐野 陽子	伊達三智子	島 智子
立石 泰生	大本由紀子	一宮 明美	岡部ひとみ	大石 澄江
田中 利子	駒田 澄子	寺田 美穂	井上 真梨	八木 澄江
真鍋千代子	川道 伸弘	若木 恭子	宮脇 郷子	秦 知美
日野出夏穂	新見 辰馬	三木 寿子	山下弥栄子	三好 恵子
春藤 真紀	中西 淑子	田上 洋子	柏尾美恵子	鈴木エリ子
片山 芳明	馬居美智恵	春藤 秀子	井上 公子	稲井 知子
弘田 敏章	浅川 陽子	藤永 真里	松田 理沙	上野 帆南
富永 裕子	横田 典子	中村 絢子	谷本真由美	忠津 安子
勝浦 美和	吉田 幸代	吉岡 逸子	由宇 典代	岸本 廣江
亀川 遥加	小林 忠志	岸上 君子	戸出 浩子	佐渡 佳子
工藤 啓子	河野 真依	田中 偉嗣	森 和子	七條 郁子
村部 紘子	尾形三千代	鎌谷 幸代	森本 裕子	沖田 章代
宇山 和治	鴻野千賀子	大塚 洋子	河見 忠信	熊代 厚子
藤村 恭子	西岡田さつき	藤山真由里	青木 博美	米倉由加里
後藤 紀代	安友 彰子	佐々 京子	吉村 敬子	近藤 美香
谷 弘美	鳩成 広美	日下 真宏	仁木 輝実	後藤 佳美
稲木 裕美	中川 泉	安原 照代	市原 美希	林 智也
粟田 正治	飯田 公子	川辺 光俊	北村 浩子	豊浦ヨシ子
峯野 智鶴	岡本 朱美	清水 宏子	渡部 敦子	青木 義人
石川 翔子	長岡亜衣梨	中筋 圭司	谷口 統雄	松永 浩子
丸岡 茂夫	磯川 味佳	武市めぐみ	西野 道夫	細井 守
真鍋 洋子	南 知枝	山口あずさ	松本 雍司	松島 勝美
益岡 輝実	洲崎 忠雄	原 貞子	森本 数子	山城美三子

佐滝 明世 山中 佳子 丸岡 真弓

篆刻の部

横田 雅夫 青木 幸代 内田美代子 射場 博子 蓑毛 真琴
植上富美子 森本 明子 後藤田美智子 小林 義治 田村 憲正
黒上三枝子 陶久 泰臣 仁木恵美子 松村 史子 森上佳衣子
川道 伸弘

仮名の部

笠原小夜子 脇坂 優 内田 麻紀 久積希実子 田岡佐記子
濱井 光代 菖蒲 和代 畠山 政子 加村喜美子 高木美賀子
和泉かず子 吉田 好孝 山橋不二子 井口 ひろ 原田 葉子
中谷つや子 瀧倉 理恵 藤原 育代 鈴江美音子 松下 智子
古谷 和代 寺尾 俊通 石橋 輝雄 河野紀代子 佐川 公子
倉本 節子 赤川久美子 吉田 純 竹内 英子 上田 久恵
松本由希子 佐藤 恵美 原口 栄子 大西 順子 井上 彰夫
竹中 敏恵 住友 裕子 廣瀬 久代 谷本 浩子 背川 章子
豊岡真由美 一ツ松真弓 伊藤 秀子 佐藤 佳子 須見智香子
河野 永子 内田美代子 井上小百合 折野 佳子 小西 千恵
妹尾 敏子 町田 哲子 福島 由子 杉本 裕子 金磯李可子
森野智恵子 森本 明美 山上 幸子 糺 真理子 森 美佳
阿部 博子 坂本 恵美 原田 実穂 濱口 恵 笹木 明華
日下壽美子 小林 貴子 今津 英子 林 英子 小川 瞳
斎藤 弥生 山本 愛美 森 眞美 高木翔太郎 島川 可奈
詫間 勝子 中筋 良江 芳田 知子 喜多美千代 森 弥生

近代詩文の部

高瀬 善郎 高橋美知江 玉城 安和 玉城 豪 玉城 若菜
田村 知恵 徳元貴美枝 長尾由美子 長野 裕子 仁木シモエ
野田 満代 野田 洋子 橋本 君代 春川 登 平岡 郁子
藤本 優子 正見 千恵 松岡 文子 松島 宏 松村 雅子
丸田 三恵 向井 通子 森 繁子 森浦 和子 森岡嗣雅子
森本知世子 森本 陽子 吉田佐知子 吉野 美保 若林 節子
渡邊 亜希 芦谷 后子 生野 久美 今治 宏美 居和城幸代
岩崎 麻美 遠藤玻都恵 遠藤 禎子 大井多鶴子 大石 正
大西 英子 桐生 由季 久米 福恵 栗林 和江 幸田 康代

児玉 幸子 片山 保	坂尾 俊一	佐藤 恵子	佐藤マスマ	清水美津子
---------------	-------	-------	-------	-------

前衛の部

大胡恵里香	阿部 公恵	長崎 香	大前 紀子	大胡 真美
井内 梨加	三浦 みや	水野 知子	中野 朋子	麻植塚由佳
有吉 陽香	細井 智加	荒川友加里	奥 由里	安喜美名子
河野 りさ	永井 厚子	梶川 佳奈	中川 博雅	義富 博正
中川 富量	佐藤 由衣	佐藤由紀代		

デザイン

[審査員] 新村 則人

[特別出品] 坂本三千一 田中 一郎

[招待] 斎藤 繁次 坂野美恵子 敷島のり子

[無鑑査] 斎藤 剛 四十宮隆志

[特選] 佐々木奏美 (徳島県議会議長賞)

亀川 苑花

[準特選] 林 敏雄 宮田さくら 溝淵 加奈

[奨励賞] 和泉 早紀 東 早紀 島原 小夏

[国文祭賞] 三木真由美

[入選] 斎藤志津子 尾形 真由 近藤 佑実 結城 千鶴 宗本真里奈

南 佳江 吉村 敏嗣 久米 紗代 河野 千咲⁽²⁾ 曾我部愛里

三木 愛佳 妹尾 りの 近藤 愛 小西 真子 粟野 優里

東 早紀 田村 あい 近清さよこ 西條 明彦 明石 侑希

武田 真依 安友理利子 岡本早弥香 田中見那美 細井 啓生

市村 彩菜 佐々木奏美⁽²⁾

第 67 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
区分	出品点数	50	325	734	20	192	816	61	2,198
	出品者数	45	248	288	16	129	515	41	1,282
入賞・入選	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	1	5	8	2	3	13	3	35
	国文祭賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入選数	23	118	132	6	105	323	29	736
	計	30	133	154	12	115	359	38	841
	入選率	60.0	40.9	21.0	60.0	59.9	44.0	62.3	38.3
選外	落選数	20	192	580	8	77	457	23	1,357
	落選率	40.0	59.1	79.0	40.0	40.1	56.0	37.7	61.7
無審査出品	特別出品	1	2	3	2	1	3	2	14
	招待	4	4	16	5	6	37	3	75
	無鑑査	3	2	3	1	3	5	2	19
	賛助出品	1	3	0	1	2	1	0	8
	遺作出品	0	0	1	0	0	1	0	2
計		9	11	23	9	12	47	7	118
展示数		39	144	177	21	127	406	45	959

※各部門の特選数は特別賞 1 点を含む

第 67 回徳島県美術展公募規定

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻
搬入日		9月30日(日)	9月29日(土)	10月7日(日)	9月30日(日)
搬入場所		あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日		9月30日(日)	9月30日(日)	10月7日(日)	9月30日(日)
審査員		小山 硬	笠井 誠一	大石 芳野	湯村 光
出品料		協会員及び高校生1点目3,500円 その他の方4,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ		<ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・写真部門は1人3点まで、その他の部門は点数に制限なし ・小・中学校在学者は出品できない 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・70cm×47cm(額縁を除く)以上でタテ、ヨコの一辺が190cm(額縁を含む)以内 ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない ・額装 ・裏面に吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> ・20号～60号までとする ・S型は30号までを上限とし、版画は10号以上とする ・アクリル・ガラス等で画面を覆わない(水彩画、版画はアクリルに限って認める) ・額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・組・単とも半切及びA3から全倍サイズで画面の長辺が40cm以上80cm ・スクエアサイズ(正方形)は一片が30cm以上50cm ・無鑑査以上は上記サイズの単写真に限る ・パネル張りに限る ・額装及び枠取り不可 ・組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定 	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m以内 ・重量200kg以内 ・材料等は自由、展示可能ものに限る
入賞		特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 国文祭賞 1点	特選 3点 準特選 6点 奨励賞 5点 国文祭賞 1点	特選 4点 準特選 9点 奨励賞 8点 国文祭賞 1点	特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点 国文祭賞 1点

区分	部門	美術工芸	書道	デザイン
搬入日		9月30日(日)	10月5日(金)	10月7日(日)
搬入場所		あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日		9月30日(日)	10月6日(土)	10月7日(日)
審査員		宮田 亮平	西村 自耕 岩永 栖邨 西野 象山	新村 則人
出品料		協会員及び高校生1点目3,500円 その他の方4,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ		<ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・写真部門は1人3点まで、その他の部門は点数に制限なし ・小・中学校在学者は出品できない 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・制限なし(ただし、平面作品はタテ1.8m×ヨコ1.5m以内) ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・展示できる用具をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・半切又は全紙ヨコ1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内でタテ、ヨコ自由 ・巻子本・帖は40cm×300cm以内 ・篆刻は印影とし、タテ39cm×ヨコ30cm以内の額装に限る (例) 61cm(2尺)×242cm(8尺) 枠張 79cm(2.6尺)×181cm(6尺) 枠張 91cm(3尺)×161cm(5.3尺) 枠張 121cm(4尺)×121cm(4尺) 枠張 ・半切・全紙1/2・連落まで額装、アクリル入りでもよい ・無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90cm以内とする ・部門は、漢字・篆刻・仮名・近代詩文書・前衛 ・それぞれ釈文をつけること 	<ul style="list-style-type: none"> ・B1サイズ(728mm×1,030mm)で厚さ5mm～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内 ・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わない ・ガラス額装は不可 ・実在の商品名、会社名等の使用は不可 ・著作権、肖像権に触れないこと ・吊り紐
入賞		特選 2点 準特選 4点 奨励賞 3点 国文祭賞 1点	特選 8点 準特選 14点 奨励賞 13点 国文祭賞 1点	特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 国文祭賞 1点

- 注1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担(梱包料金)で返送する

徳島県美術展審査員一覽

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫刻)
1		委 員	野 間 仁 根 家 永 三 郎	委 員	
2		大 栗 旌 柝	野 間 仁 根	上 田 備 山	太 坂 田 東 三 文 郎 夫 太 坂 鹿 田 東 内 三 文 郎 夫 洲
3		委 員	伊 原 宇 三 郎	同 上	
4		委 員	須 田 国 太 郎	同 上	同 上
5		上 村 松 篁	田 村 孝 之 介	小 野 由 行	太 坂 田 東 三 文 郎 夫
6		西 山 英 雄	伊 藤 繼 郎	川 崎 亀 太 郎	同 上
7		山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤 太 郎
8		池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	太 坂 田 東 三 文 郎 夫
9		水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10		管 桶 彦	鈴 野 木 間 信 太 郎 根 仁	同 上	同 上
11		奥 村 厚 一	井 上 長 三 郎	岩 宮 武 二	同 上
12		浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13		小 松 均	藤 井 令 太 郎	同 上	辻 坂 東 晋 堂 夫
14		秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15		奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16		同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17		松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18		矢 野 鉄 山	池 島 勘 治 郎	同 上	安 田 周 三 郎
19		中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初 太 郎	堀 内 正 和
20		曲 子 光 雄	桂 工 子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21		沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22		堂 本 阿 岐 羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23		松 岡 政 信	山 下 大 五 郎	同 上	井 上 武 吉
24		山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25		奥 村 厚 一	斉 藤 真 成	同 上	原 武 典
26		梶 喜 一	島 村 三 七 雄	同 上	掛 井 五 郎
27		上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外 次 郎
28		黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 畠 広 志
29		松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30		黒 光 茂 樹	田 中 岑	岩 宮 武 二	篠 崎 明 雄
31		河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32		長 谷 川 青 澄	山 口 長 男	岩 宮 武 二 己 二 郎	一 色 邦 彦
33		松 岡 政 信	吉 井 忠	伊 藤 岩 宮 武 二 己 二 郎 庄 太 郎	柳 原 義 達
34		山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九 兵 衛

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
鬼塚信之	委員	
同上	田中白村	
同上	炭山南木	
同上	炭山南木・織田子青	
同上	手島右卿	
鬼塚信之 新田信太郎	同上	
鬼塚信之	小坂奇石	
明石朴景	辻本史邑	
会田裕宣	織田子青(漢)・出口草露(仮)	
鴨政雄	松井恕流	
近藤悠三	荒井天鶴・後藤藤中 泰栢秀翠・後藤田香石 眉峰	
平松宏春	同上	
同上	荒井天鶴・後藤藤中 泰栢秀翠・後藤田香石 眉峰	
大西忠夫	荒井天鶴・後藤藤中 泰栢秀翠・後藤田香石 眉峰	
明石朴景	同上	
平松宏明	同上	
大西忠夫	同上	
鴨政雄	同上	
平松宏春	同上	
内田邦夫	同上	
山脇洋二	同上	
槻尾宗一	同上	
山脇洋二	荒井天鶴・後藤藤中 泰栢秀翠・田中栢翠	
藤本能道	同上	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角頴雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	荒井天鶴・後藤藤中 泰栢秀翠・田中双鶴	田中一光
浅野陽	同上	奥野秀雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讚岐泰泉・田中双鶴 中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫刻)
35		樋 笠 数 慶	荻 太 郎	岩 宮 武 二	桜 井 祐 一
36		坂 口 麻 沙 子	吉 井 淳 二	同 上	土 谷 武
37		下 田 義 寛	野見山 暁 治	同 上	山 本 正 道
38		同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九 兵 衛
39		同 上	斉 藤 真 一	同 上	城 田 孝 一 郎
40		下 保 昭	津 高 和 一	岩 宮 武 二 嵩 田 武 誠 三	清 水 良 治
41		橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42		松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43		山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44		平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45		福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46		岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	同 上	峯 田 敏 郎
47		穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48		田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 島 覚 造
49		中 路 融 人	馬 越 陽 子	同 上	綿 引 道 郎
50		下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実
51		工 藤 甲 人	中 根 寛	斉 藤 康 一	恩 田 静 子
52		那波多目 功一	松 樹 路 人	細 江 英 公	石 井 厚 生
53		那 須 勝 哉	藤 田 吉 香	高 田 誠 三	香 浦 有 爾
54		内 田 あぐり	奥 谷 博	同 上	小 林 陸 一 郎
55		松 尾 敏 男	佐々木 豊	大 石 芳 野	日 原 公 大
56		山 崎 隆 夫	大 津 英 敏	同 上	石 黒 鏘 二
57		岩 本 和 夫	山 本 貞	細 江 英 公	原 武 典
58		大 矢 紀	福 島 瑞 穂	江 成 常 夫	菅 原 二 郎
59		竹 内 浩 一	中 山 忠 彦	大 石 芳 野	米 林 雄 一
60		小 嶋 悠 司	絹 谷 幸 二	江 成 常 夫	北 郷 悟
61		宮 廻 正 明	山 本 文 彦	同 上	鈴 木 久 雄
62		能 島 和 明	島 田 鮎 子	英 伸 三	中 垣 克 久
63		雲丹亀 利 彦	桜 井 寛	田 沼 武 能	林 武 史
64		西 田 俊 英	塗 師 祥 一 郎	同 上	津 田 裕 子
65		岡 村 倫 行	金 山 佳 子	三 好 和 義	建 島 朔 弥
66		宮 いつき	大 津 英 敏	江 成 常 夫	深 井 隆
67		小 山 硬	笠 井 誠 一	大 石 芳 野	湯 村 光

美術工芸	書 道	デザイン (37回まで商業美術)
山脇洋二	荒井天鶴・久保幽香・讚岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・宮永眉峰・新居藍州	永井一正
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠 宮永眉峰・西岡燧峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠 宮永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讚岐泰泉・春藤大耿・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡燧峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊藤憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	松永真
山下恒雄	近藤摂南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	勝井三雄
大西長利	安原阜雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聴松	青葉益輝
島田文雄	尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井錦亭	松永真
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	安西水丸
栗木達介	甫田鷄川・小山やす子・石飛博光	U. G. サトー
宮田亮平	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	早川良雄
松永勲	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	戸田正寿
竹内順一	田中節山・村上俄山・黒田玄夏	杉浦康平
栗木達介	宮崎葵充・赤江華城・金子卓義	秋山孝
中井貞次	星弘道・宮重小蘭・西野象山	遠藤享
島田文雄	吉川蕉仙・清水透石・作田英嗣	中村誠
竹内順一	岩井韻亭・光宗道子・大井錦亭	小島良平
宮田亮平	伊藤天游・井茂圭洞・田岡正堂	永井一正
島田文雄	稲垣松圃・横山煌平・船本芳雲	新島実
増村紀一郎	樽本樹邨・東山一郎・辻元大雲	三木健
石川充宏	真神巍堂・前島泉洲・長谷川牧風	松井桂三
竹内順一	鈴木春朝・山本高邨・砂本杏花	河北秀也
山下了是	大河内仙嶽・師田久子・飯高和子	勝井三雄
大樋年朗	土井汲泉・舟尾圭碩・百瀬大蕪	佐藤晃一
宮田亮平	西村自耕・岩永栖邨・西野象山	新村則人

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部会から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名で構成する。事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。

7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

(1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

(1) 特選を連続3回得たもの。

(2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

(3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）

(4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

(1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会長、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得た方。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する可能性があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	国文祭賞	入 選
日 本 画	2	徳島県教育委員会教育長賞	3	3以内	1	規定数
洋 画	3	徳 島 市 長 賞	6	5 "	1	"
写 真	4	徳 島 新 聞 社 長 賞	9	8 "	1	"
彫 刻	1	四 国 放 送 社 長 賞	2	2 "	1	"
美術工芸	2	徳島県美術家協会会長賞	4	3 "	1	"
書 道	8	徳 島 県 知 事 賞	14	13 "	1	"
デザイン	2	徳 島 県 議 会 議 長 賞	3	3 "	1	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1人1賞とする。

第9条（表彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、賞金
2. 準特選……賞状、賞金
3. 奨励賞……賞状、記念品
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料
3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金

5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目4,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点3,500円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 500円 | 当日 700円 |
| 2. 高校生 | | 当日 300円 |

第13条（附則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- | | |
|------------|------|
| 平成4年2月22日 | 一部改正 |
| 平成4年5月16日 | 一部改正 |
| 平成8年5月25日 | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成13年5月30日 | 一部改正 |
| 平成14年9月25日 | 一部改正 |
| 平成17年6月14日 | 一部改正 |
| 平成18年4月11日 | 一部改正 |
| 平成23年2月20日 | 一部改正 |

第 8 回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月19日(金)～10月23日(火)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 大人 3,479人 こども 1,702人 計 5,181人

出品・入選等状況

【絵画部門】

種 別		一 般 展 出 品							特 別 企 画 展 出 品					
学 年	作品総数	特選	準特選	優秀賞	入選	入選合計	入選率	作品総数	特別賞	優秀賞	入選	入選合計	入選率	
小 学 生	1年	577	2	2	37	51	92	15.94%	29	1	3	5	9	31.03%
	2年	613	2	2	40	48	92	15.01%	47	1	3	5	9	19.15%
	3年	564	2	2	40	48	92	16.31%	63	1	3	5	9	14.29%
	4年	454	2	2	32	39	75	16.52%	54	1	3	5	9	16.67%
	5年	477	2	2	33	38	75	15.72%	71	1	3	5	9	12.68%
	6年	420	2	2	33	39	76	18.10%	51	1	3	5	9	17.65%
中 学 生	1年	277	2	2	18	20	42	15.16%	18	1	3	3	7	38.89%
	2年	250	2	2	18	21	43	17.20%	19	1	3	3	7	36.84%
	3年	237	2	2	18	21	43	18.14%	70	1	2	3	6	8.57%
計	3,869	18	18	269	325	630	16.28%	422	9	26	39	74	17.54%	

【書写部門】

種 別		一 般 展 出 品							特 別 企 画 展 出 品					
学 年	作品総数	特選	準特選	優秀賞	入選	入選合計	入選率	作品総数	特別賞	優秀賞	入選	入選合計	入選率	
小 学 生	1年	535	2	2	18	49	71	13.27%	302	1	8	5	14	4.64%
	2年	665	2	2	22	60	86	12.93%	609	1	8	5	14	2.30%
	3年	1,302	2	2	47	120	171	13.13%	863	1	10	10	21	2.43%
	4年	878	2	2	34	90	128	14.58%	998	1	10	10	21	2.10%
	5年	1,066	2	2	40	110	154	14.45%	985	1	10	9	20	2.03%
	6年	924	2	2	34	89	127	13.74%	621	1	10	10	21	3.38%
中 学 生	1年	274	2	2	10	28	42	15.33%	230	1	7	5	13	5.65%
	2年	204	2	2	10	26	40	19.61%	179	1	7	5	13	7.26%
	3年	212	2	2	10	26	40	18.87%	155	1	5	5	11	7.10%
計	6,060	18	18	225	598	859	14.17%	4,942	9	75	64	148	2.99%	

各部記録

日本画部

部会長 西野 和男

年間展望

◎第20回放美展（5月2日～5月6日 あわぎんホール）

出品点数は24点で、内入選17点。その中から放美賞、優秀賞、梅岡トヨ賞、阿波銀行賞を各1点選んだ。

絵を描く上で大切なのは、技術にとらわれずに「こういうところを描きたい」という思いを表現すること。写生を積み重ねて対象物への観察を深めれば、実感が湧き上がってくる。その中から生まれる「その人らしい作品」がもっと増えることを期待している。

放美賞	「季」	川真田哲雄
優秀賞	「彼女は強さの欲望を意味し」	河野 陽香
梅岡トヨ賞	「鶏と少女」	神取加奈子
阿波銀行賞	「竹林」	植田 忠生

◎第67回徳島県美術展（10月13日～21日 あわぎんホール）

今回の審査は、院展同人の小山硬先生にお願いした。応募点数は50点で、その中から特選（県教育長賞）1、特選1、準特選3、奨励賞1、国文祭賞1を含む入選30点を選んだ。小山先生からの総評は次のようなものであった。

にかわと岩絵の具の特徴を生かし、日本画らしい、ざらついた感じを表現できているかを重視した。

県教育長賞の岩脇恵子「農具たち」は、素朴な味わいの中に、迫ってくるものがあった。農具置き場の壁につるされたくわなどの錆び、持ち手の木の曲がり具合などが生々しく表現され、手に持ったときの重さまで伝わってくるようだ。農具への愛着、さらには農作業に懸ける思いをも感じさせる。背景の壁も、農具を際立たせるような、効果的な描き方ができていた。

特選の石原千鶴「刻」は、倉庫の鉄扉だろうか、金属の質感をうまく表現した作品で、県教育長賞との差はほとんどなかった。錠前のメッキのはげ具合、地面を這う鎖などまるで本物。高いデッサン力を用い、時間と手間をかけたことが伝わってくる。

正面から大きく捉えた構図も、ゆったりとした空気感を生み出すことに成功していた。

準特選3点も、それぞれに日本画的な表現方法を踏まえた、構図のいい作品だった。

全体的に、先人のにおいを感じさせるような作品がないのはよかった。日本画は、先人の技法のものまねに終わらないことが大切。今後も自分らしい表現を心がけてほしい。

残念だったのは、水彩画のデッサンのような作品が散見されたこと。日本画らしく、にかわと岩絵の具によるざらつきをしっかりと表現してもらいたい。

特選 (県教育長賞)	「農具たち」	岩脇 恵子
特選	「刻」	石原 千鶴
準特選	「階段下」	梶浦 千瑞
準特選	「水無月の頃」	森崎 雅子
準特選	「悠」	大塚さや香
奨励賞	「鶏舎」	泉 福美
国文祭賞	「二拍子に恋して」	仁木 正子

会員消息

2月	第40回徳島市芸術祭美術展	あわぎんホール	土方喜美子
	読売・KRYチャリティー美術展	アクロス福岡交流ギャラリー	土方るみ子
3月	さくら展	京都市勧業館みやこめっせ	長尾弘子
	第47回日春展	松屋銀座	橋本正弘(会員出品)
4月	第52回日本南画院展	東京国立美術館、京都市立美術館、大阪市立美術館	藤井瑞雲(佳作賞)
5月	第3回徳島女流美術展	あわぎんホール	土方喜美子・土方るみ子
	第51回阿南市美術展	阿南市文化会館	長谷壽・天羽弘毅
6月	第14回朱泥会展	アミコシビックセンター3F	長尾弘子塾生24名の37点
	第43回珀雲社日本画展	阿波銀プラザ	長谷壽・藤井瑞雲・吉田満子
	四国大学退任記念岡英彦展	四国大学交流プラザ	岡英彦
9月	石井美術の会作品展	あわぎんホール	中川健
10月	第70回記念有秋会日本画展	大阪市立美術館	長谷壽・藤井瑞雲(大阪府教育長賞)
	サンライフ日本画教室作品展	世界一小さな美術館	中川健
	平成24年美波町由岐地区文化祭	由岐ポッポマリン	長谷壽
11月	第8回吉野川市文化祭	川島町体育館	藤井瑞雲
	第41回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	長谷壽・天羽弘毅
	第13回福井町文化祭	福井町総合センター	長谷壽
	石井文化祭	石井中央公民館	中川健
	第44回日展	国立新美術館	橋本正弘(無鑑査出品)・土方るみ子
12月	第41回歳末チャリティー作品色紙即売展	そごう徳島店6階	長尾弘子・岡英彦・土方喜美子・土方るみ子
	読売・KRYチャリティー美術展	読売新聞西部本社よみうりプラザ	土方るみ子
	第44回日展京都展	京都市美術館	橋本正弘

洋 画 部

部 会 長 榎 田 務

年間展望

◎第 20 回放美展 会期・5月2日(水)～5月6日(日) 会場・あわぎんホール

洋画部門の応募者は153人、点数は185点で、前回に比して応募者は3人の増。作品は2点の増で、高校生の応募が35点を数えた。

入選は80点で入選率43パーセントという厳選になった。

審査には、中辻奈美枝、黒崎志郎、榎田務の三氏が当たった。審査後の感想として全体的に表現のバラエティーには富んでいたが、もう少し追求すれば素晴らしい作品になる惜しい作品も見られた。

受賞作品については、放美賞の武田洋子さん「昔の船着き場」はリアリティーがあり、土蔵の白を生かした色彩に魅力。優秀賞の井関久美子さん「夕餉前の頃」、米沢博さん「屋台でのひととき」はともに親しみやすいタッチで温かい。坂東弘子さん「娘たち」鮮やかな色を大胆に使ったしゃれた作品。北村照子さん「踏切のある通りで」は複雑な情景を生き生きと捉えた。市原幸子さん「やさしき雨の響きして」は生活のひとこまに家族の情愛が表現されている。黒島貞子さん「石仏」は堅実な描写で渋い。村崎恵子さん「伊吹島の今」は過疎の村の町角が懐かしい。画面構成がおもしろい。梅岡トヨ賞の齋藤理沙さん「進化」は、青春の自画像に蟬を配して設定に工夫がある。阿波銀行賞の北原安鶴紗さん「抱く」はダイナミックな動きのリズムで若々しい表現。などが評価された。

入選を逸した作品も遜色のない好作品で不運としか言いようがない。更に精進されて応募されるようお願いしたい。

◎第 26 回洋画部会員展 会期・6月30日(木)～7月3日(日) 会場・あわぎんホール

今回の出品総数は89点、各作品とも力作ぞろいで見ごたえのある展覧会になった。会員相互の研究・交流の場として、更なる充実を図り、県民の方々から愛好される展覧会になるよう願ってやまない。

会員の皆様のご協力を切にお願したい。

なお、会期中の7月2日には、会員相互の親睦を深める懇親会をホテルグランドパレス徳島で開催した。当日、会員展の会計報告および監査報告があり、つづいて、河野公子氏、松川寛氏から「絵について思うこと」をそれぞれ語っていただき有意義であった。

また、会員展の現状とこれからの在り方などについて意見を交換し、終始なごやかなひとときを過ごした。

洋画部会員展運営委員

(中央) 伊勢浩章、嵯峨潤三、佐野比呂志、玉田秀子、長尾弘久、南城ミツ子、榎田 務

(北部) 河野公子、田中シゲミ、三好初子

(南部) 佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子

(西部) 近藤克子、鈴木敬子、松川 寛

(会計) 福良哲子 (監事) 佐藤敬子、日中シゲミ (事務局) 清水 博

◎第 67 回県美術展 会期・10月13日(土)～10月21日(日) 会場・あわぎんホール

洋画部門の応募作品総数は325点、昨年に比して4点増。出品者数は248人で13人の増だった。入選点数は133点、入選率40.9パーセントで相変わらずの厳選である。入賞作品数は、特選3点(内1点は、徳島市長賞)、準特選6点、奨励賞5点、国文祭賞1点の計15点である。

審査員には、愛知県立芸術大学名誉教授の笠井誠一先生をお迎えした。午前9時30分から午後3時過ぎまで審査に当たっていただいた。

審査後のお話では、応募された作品はいずれも真剣に制作に取り組みされていて入選と選外にほとんど差がなかった。力量のある人が多く、67回という県展の歴史が感じられた。

審査に当たっては色彩、構成力、材料の効果的な使い方などをベースに、モチーフや表現手段など、偏りのないよう評価することに努めた。と話された。

特に、徳島市長賞の福本恵「ペンギンズ」のユニークなモチーフと発想の説得力。特選の大伏美智子「登り窯」の建築物としての要素と色調など独特の雰囲気描写、ねらいの斬新さ。同じく特選の細川禮子「春の雨」の水彩画としての極めて表現力の高い作品。描写の力量などを高く評価された。

笠井誠一氏には、作品一点一点に時間をかけて丁寧に審査に当たっていただいた。

審査の途中で、作品についての適切なアドバイスを含め、示唆に富んだコメントをいれられたことも公開審査としてはこれまでにないことであり、好評であった。

今回は、作品が全体的に大きく、入選点数を130点前後としたため(実数133点)入選率において大変厳しい結果となった。

これからも関係者の意見をよく聞き、参考にしながら、第68回展に臨みたい。

会員消息 (県展・放美展を除く)

- 藍谷 浩平 第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、市民大学講座作品展(阿波銀プラザ)
- 阿部 昌子 第43回土曜展(徳島市シビックセンター)、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 東 紀美子 第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第10回展(阿波銀プラザ)、第11回つくしの会・波の会合同絵画展、第51回阿南市美術展、第41回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)
- 伊勢 浩章 徳島アート21第10回展(阿波銀プラザ)、第36回15人展(ヨンデンプラザ徳島)、第26回洋画部会員展、第30回平和美術展、第68回青美展(あわぎんホール)、日野邦恵・伊勢浩章水彩画展(世界一小さな美術館)
- 乾 繁春 ニューヨーク乾繁春個展(Gallery One twenty eight)、マンハッタン風景展個展(そごう徳島美術画廊)、128Rivington 個展(高松ゼファー画廊)第72回

美術文化展：会員出品（都立美術館）、京都巡回展（京都市立美術館）、名古屋巡回展（愛知県立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、第4回美術文化徳島支部展、第70回世代美術展、第5回徳島絵画美学展：賛助出品（阿波銀プラザ）、第3回鳴門水彩美学展：賛助出品（キョーエイ鳴門駅前ギャラリー）、第9回高松NHK文化センター彩展：賛助出品、第1回グループ遊展：賛助出品、第1回VIIセレクト油彩展：賛助出品（高松NHKギャラリー）

- 宇高 桂子 第66回女流画家協会展（都立美術館）、第2回女流画家協会関西展（原田の森ギャラリー）、第3回徳島女流美術展、第26回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 大津 憲文 第51回阿南市美術展、第41回阿南市文化祭美術展、第11回合同絵画展（阿南市文化会館）、洋画部会員展（あわぎんホール）
- 大西 文代 第30回青彩美術展（シビックセンター）
- 大西 道夫 第62回モダンアート展（京都市立美術館）、第26回洋画部会員展（あわぎんホール）、小松島市美術展（小松島市中央公民館）、第32回道草展（喫茶やまなみ）
- 大西利津子 第40回徳島市芸術祭美術展・第26回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展、（阿波銀プラザ）、第27回徳島二紀展（県立近代美術館）、大西利津子作品展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 大野 文雄 第19回徳島市加茂文化祭（徳島市加茂コミュニティーセンター）11月18日
- 小笠原秋子 第40回徳島市芸術祭美術展、第26回洋画部会員展、第11回徳島新聞カルチャー展（あわぎんホール）、春風展（たばこ資料館）、三好市文化祭（ヨンデンプラザ池田）、三野文化祭（三好市三野体育館）
- 岡田 君代 第30回平和美術展・第26回洋画部会員展・第68回青美展（あわぎんホール）、第36回15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 越久 高照 第68回青美展、第40回徳島市美術展、洋画部会員展、徳島平和美術展（あわぎんホール）、第27回藍美展（福祉センター）
- 加賀谷愛美 第62回モダンアート展（都美術館）、同巡回展（京都市美術館）、第66回女流画家協会展（東京都美術館）、第44回モダンアート支部展、第26回洋画部会員展、（あわぎんホール）
- 加川由紀子 徳島アート21第10回展、中央公民館成人大学洋画講座渭北油絵教室作品展（阿波銀プラザ）、平和美術展、洋画部会員展（あわぎんホール）、第19回月曜会展（ファンファーレ）
- 片山 富市 第78回旺玄会展（東京都美術館）、第16回旺玄会東四国支部展（阿波銀プラザ）
- 片山美代子 第68回現代美術家協会展（国立新美術館）、現展名古屋展（愛知県美術館）、現展関西展（大阪市立美術館）、関西支部展（茶臼山画廊）、洋画部会員展（あわぎんホール）、個展（阿波銀プラザ）、はなみずぎ展（ヨンデンプラザ徳島）、吉野川市阿波市二市交流展（吉野川文化研修センター）、阿波市文化祭（吉野コミュニティーセンター）
- 河田 安市 第88回白日出展、第44回日展（国立新美術館）、自日会巡回展選抜
- 河野 公子 第72回美術文化展（東京都美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、第

- 22 回美術文化徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 3 回徳島平和展、第 26 回洋画部会員展、第 68 回青美展（あわぎんホール）、第 36 回 15 人展（ヨンデンプラザ）
- 河本多恵子 第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 岸本 花子 第 40 回徳島市芸術祭美術展、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 35 回八紅展（阿波銀プラザ）、第 27 回八万文化祭（八万コミュニティセンター）全日本美術協会網走支部展（網走市エコセンター）
- 木谷 弘 第 72 回美術文化展（都美術館）、第 72 回関西美術文化展（大阪市立美術館）、第 71 回世代美術展、第 22 回美術文化徳島支部展、油絵教室作品展：賛助出品（阿波銀プラザ）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 黒崎 志郎 日本美術家連盟四国地区在住会員展 2012、第 43 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、100 周年記念日本水彩展（都美術館）、65 周年記念示現会展、44 回日展（国立新美術館）、示現会展巡回徳島展、洋画部会員展（あわぎんホール）、水彩画の現在—信州新町美術館開館 30 周年特別展—（信州新町美術館）
- 答島 久子 第 51 回阿南市美術展、第 11 回つくしの会・波の会合同展・第 41 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、第 5 回羽ノ浦公民館フェスタ（羽ノ浦公民館）、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 小浜 敏也 阿南市美術展・阿南市文化祭・つくしの会波の会合同絵画展（阿南市夢ホール）、徳島アート 21 展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（あわぎんホール）
- 後藤ユリ子 洋画部会員展（あわぎんホール）、短歌と絵画の彩り展（フジムラコーヒーギャラリー花実）、自百合文化祭（仙台市）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 近藤 克子 水彩連盟展、日展（国立新美術館）、東光会展（都立美術館）、東光会徳島支部展、画展ふるさと（あわぎんホール）、絵画美学展、水彩連盟徳島支部展（阿波銀プラザ）、鴨島美術グループ展（鴨島文化センター）
- 斉藤 靖子 第 62 回日本板画院展（都美術館）、徳島版画展（阿波銀プラザ）、徳島女流展、ふるさとを描き遣す会展（あわぎんホール）
- 嵯峨 潤三 徳島アート 21 第 10 回展（阿波銀プラザ）、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 佐々木公子 徳島アート 21 第 10 回展（阿波銀プラザ）、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 11 回合同展（阿南市文化会館）、羽ノ浦町文化祭（羽ノ浦公民館）
- 佐藤 敬子 第 68 回青美展、第 26 回洋画部会員展、第 5 回絵画美学展（あわぎんホール）
- 佐野比呂志 日本美術家連盟会員展、アート 21 展（阿波銀プラザ）、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 島上 二郎 第 78 回東光展（都美術館）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）
- 清水 壱悞 第 47 回清水壱悞油絵個展（徳島そごう美術画廊）
- 下時治郎秀臣 白日会展（国立新美術館）、白日会展巡回展（愛知、近鉄アート館）、選抜展（近鉄画廊、日本橋三越）、デッサン展（永井画廊）、五里会（福岡三越）、日展（国立新美術館）、鴨島美術グループ展（吉野川市文研センター）
- 杉本 祥子 第 19 回月曜会展（ギャラリーカフェファンファーレ）、徳島アート 21 第 10

- 回展(阿波銀プラザ)、第26回洋画部会員展、第30回平和美術展(あわぎんホール)、第36回15人展(ヨンデンプラザ)
- 鈴木 敬子 第88回白昼展(国立新美術館)、第34回鴨島美術グループ展(吉野川市文化研修センター)
 - 住友 政雄 画展ふるさと展、ふるさとを絵で遺す会展(あわぎんホール、徳島空港ロビー、徳島大学病院ロビー、徳島城博物館)、吉野川市文化祭(川島町体育館)、洋画部会員展(あわぎんホール)、吉野川市総合美術展・鴨島美術グループ展、四季彩会作品展(吉野川市文化研修センター)
 - 住友 義彦 第41回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)
 - 曾我部秀子 第40回徳島市芸術祭美術展:招待出品、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、第13回日美絵画展(国立新美術館)、第28回八万文化祭(八万コミュニティセンター)
 - 武田 洋子 第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、三好郡・市教職員春風展(たばこ資料館)、吉野川市・阿波市交流展(吉野川市文化研修センター)、個展(東みよし町歴史民俗資料館・三好市立図書館)
 - 竹原 良亮 第40回徳島市芸術祭美術展、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)
 - 田中シゲミ 第40回徳島市芸術祭美術展:招待出品、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、大麻町文化祭(鳴門市大麻町公民館)
 - 田中 康子 第35回八紅展(阿波銀プラザ)、国府文化祭(国府コミュニティセンター)、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)
 - 玉田 秀子 第40回徳島市芸術祭美術展、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第10回展、第35回八紅展(阿波銀プラザ)、第11回合同絵画展(阿南市文化会館)
 - 為実美恵子 第25回三好市文化まつり(ヨンデンプラザ池田ギャラリー)
 - 露口 敏幸 第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、第71回世代美術展(阿波銀プラザ)、
 - 手塚てる子 手塚てる子個展(シビックセンター)、第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、第11回ワールドインパリ展(東京交通会館・パリ・リンダホールギャラリー)、Tokushima ITI展(ニューヨーク・128ぎゃらりー)
 - 長野 満子 第7回交流プラザフェスタ絵画展(県立障害者交流プラザ)、障害者交流プラザ絵画教室展(NHKホール)、徳島の風景展、徳島城博物館友の会展(徳島城博物館)
 - 中辻奈美枝 第26回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第10回展(阿波銀プラザ)、第50回記念阿南市美術展、第41回阿南市文化祭美術展、第11回合同絵画展(阿南市文化会館)
 - 中村 恵一 第26回日洋展(国立新日本美術館)、同大阪会場(大阪市立美術館)、第25回洋画部会員展、第44回石井美術の会会員展(あわぎんホール)、油彩展(世界一小さな美術館)
 - 南城ミツ子 東光展(都美術館)、東光会徳島支部展・徳島市芸術祭美術展(あわぎんホール)、

世代美術展（阿波銀プラザ）

- 仁木 幸子 第 26 回洋画部会員展(あわぎんホール)、第 28 国八万文化祭(八万コミュニティセンター)
- 西 富美 平成 23 年度武蔵野美術大学卒業制作展（武蔵野美術大学）、第 26 回日本の自然を描く展（上野の森美術館、神戸原田の森ギャラリー）
- 西川 敬子 第 3 回徳島女流美術展、洋画部会員展（あわぎんホール）、第 10 回徳島アート 21（阿波銀プラザ）
- 西川 周三 第 10 回徳島アート 21（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（あわぎんホール）
- 西川 照美 洋画部会員展（あわぎんホール）、アトリエ・バクはちにん展（櫻ギャラリー）
- 西崎 志帆 第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、月のリズム西崎志帆展（京都ギャラリーはねうさぎ）
- 二條 均 平和美術展、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、板野美術クラブ展（板野町文化の館）
- 野口 暁子 第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 35 回八紅展（阿波銀プラザ）
- 野上 恵子 徳島市芸術祭美術展・洋画部会員展（あわぎんホール）、第 35 回八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、佐那河内ふるさと展（佐那河内体育館、文化の森 21 世紀館）
- 野村 雅子 第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート 21 第 10 回展（阿波銀プラザ）、波の会つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 林 康太郎 第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 静代 第 56 回神戸二紀展（原田の森ギャラリー）、はちにん展（櫻ギャラリー）、洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 文子 第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 51 回阿南市文化協会・洋画部展、阿南市美術家協会洋画部展（阿南市文化会館）
- 日野 邦恵 第 78 回東光展、100 回記念日本水彩画展（都美術館）、東光会徳島支部展、洋画部会員展（あわぎんホール）
- 平田スミコ 第 66 回女流画家協会展（東京都美術館）、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 2 回響展（阿波銀プラザ）、一宮祭（一宮コミュニティーセンター）
- 平木 美鶴 第 66 回二紀展会員賞（新美術館）、第 80 回日本版画協会展（都美術館）、徳島二紀展（県美ギャラリー）、第 10 回徳島版画展（阿波銀プラザ）、京都版画 2012 日本・英国国際版画展（京都市美術館）、個展（あとリエ 05 ちいさなぎやらりー京都）、第 57 回 CWAJ 現代版画展（東京アメリカンクラブ）、ノヴォシビルスク国際グラフィックトリエンナーレ展特別企画に招待出品（ロシア）
- 福良 哲子 第 40 回徳島市芸術祭美術展：招待出品、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 35 回八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 藤井 香世 月曜会展（ファンファーレ）、平和美術展、第 26 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 藤丸 家栄 徳島アート 21 第 10 回展（阿波銀プラザ）
- 堀江 幸子 第 26 回洋画部会員展、第 67 回青美展（あわぎんホール）、吉野川市・阿波市

二市交流展、鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第36回鴨島文化サロン展（本郷ギャラリー）

- 前野 亮治 かみやま百景とあかり展（阿波銀プラザ）
- 前川フキ子 第11回合同絵画展（阿南市文化会館）、阿南市羽ノ浦町文化祭（阿南市羽ノ浦公民館）
- 前川 富子 第72回美術文化展（都立美術館）、第72回関西美術文化展（大阪市美術館）、第22回美術文化徳島支部展、第4回、第5回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、第44回画展「ふるさと」、第41回絵で見る徳島展、第44回石井美術の会作品展（あわぎんホール）、第71回水彩連盟展（国立新美術館）
- 榊田 務 第34回東光会徳島支部展、第26回洋画部会員展、第40回徳島市芸術祭美術展：審査員出品（あわぎんホール）、色紙・短冊展（ヨンデンプラザ徳島）
- 松川 寛 日本美術家連盟四国在住会員展、モダンアート徳島支部展、燎四人展（阿波銀プラザ）、第62回モダンアート協会展（東京都美術館）、関西モダンアート展（奈良市美術館）、美しき日本展（モンパルナス美術館）、松川寛スケッチ展（世界一小さな美術館）
- 真鍋 弘子 第10回徳島アート21（阿波銀プラザ）
- 真野 孝彦 個展（徳島国府藤村コーヒー）、第6回吉野川、阿波市交流展、徳島短歌絵画コラボレーション美術協会展（徳島）、吉野川市彩りと短歌（鴨島公民館）、鴨島美術グループ展
- 馬淵 博子 第26回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 三沢 尚子 関西水彩展（大阪市立美術館）、燎四人展、それいゆ水彩画展（阿波銀プラザ）、女流美術展（あわぎんホール）
- 三谷多美子 美馬市文化祭（うだつアリーナ）
- 三谷ミヤ子 第40回徳島市芸術祭美術展：招待出品、第26回洋画部会員展（あわぎんホール）、第5回東光会小品展（東京都美術館）、第34回八紅展（阿波銀プラザ）、東富田文化展（東富田コミセン）、八万文化祭（八万コミセン）、MIYAKOアート会展（ふれあい健康館：NHK 徳島放送局）
- 宮田 京子 第26回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 峯 幸子 徳島女流美術展、洋画部会員展（あわぎんホール）、アトリエ・ロイン展、む・アート展（阿波銀プラザ）、絵からはじまる大川原（佐那河内ネイチャーセンター）
- 三好 初子 第78回東光展（東京都美術館）、第3回徳島女流美術展、第34回東光会徳島支部展、第26回洋画部会員展、第40回徳島市芸術祭美術展（あわぎんホール）、藍美展（藍住町福祉センター）三好初子小品展（ギャラリーカフェ「プリッサ」）
- 山口 明美 第35回八紅展（阿波銀プラザ）
- 山口美千代 洋画部会員展、青美展（あわぎんホール）、池田文化まつり展（ヨンデンプラザ池田）
- 吉田 実 阿波市美術グループ展（阿波図書館）、第6回総合美術展、吉野川・阿波二市交流展、四季彩会展、鴨島美術グループ展（鴨島文化研修センター）

- 米沢 博 第40回徳島市芸術祭美術展（あわぎんホール）、第25回全国健康福祉祭宮城
仙台大会（夢メッセみやぎ）
- 和田 寿子 第40回徳島市芸術祭美術展、第26回洋画部会員展（あわぎんホール）、第
35回八紅展（阿波銀プラザ）、第27回八万文化祭（八万コミュニティーセン
ター）、阿波踊り油絵展（個展）（ふれあい健康館）

写 真 部

部 会 長 上 野 照 文

年間展望

○第 20 回放美展 2012 年 5 月 2 日（水）～ 6 日（日） あわぎんホール

応募点数 476 点あり、昨年より 27 点増。

審査員は橋本圭祐、大和健司、井藤光章の各氏が担当した。

放美賞 田中 伸廣

優秀賞 根ヶ山美江・福見 直美・岡本 早苗・平田真紀代・熊谷美智子

山上 道子・猪熊 恵子・山口 正明・棚橋 仁志・野藤みきよ

榎本 真悟・稲垣 喜修・大西 忠・林 好一・古字 智子

島 廣幸・鍋島治世子・井上 秀人

阿波銀行賞 小坂 愛

○第 67 回県美術展 2012 年 10 月 13 日（土）～ 21 日（日） あわぎんホール

応募点数 734 点。前年度より出品者数 10 名増、出品点数 26 点減でした。

67 回展より応募要項が少し変わり、1 人 3 点までの応募、入選枚数は制限無しになりました。特に大きな混乱などはありませんでした。

審査員には日本大学客員教授の写真家・大石芳野先生をお願いいたしました。

審査評は「いずれの作品も力強く、技術レベルは標準ラインを超えている。表現力に関しても、よく考えながら撮っている作品が多い。大事なものを何を撮りたいか、何を伝えたいか。審査では、時代を表現されているか、作者が何を考えているかが表れている写真を上位に選んだ。

写真は、表現力はもちろんタイトルも重要。メッセージ性を込めたタイトルにすると、展覧会に来た人にも写真の奥深さが伝わる」

特 選 阿部 啓三（徳島新聞社長賞）

平野 史子・大塚 尚・田中 伸廣

準特選 姫野 博司・森住 啓・幾田 茂仁・南 賢治・岡本 早苗

宮前 稔・古岡 友子・松原 玲子・村山 松子

○写真部会写真撮影 2012 年 7 月 29 日（日） 京都方面

毎年、恒例の写真撮影会を今回は新しく出来た「京都水族館」とその周辺で実施しました。参加者 47 名。

井藤 光章、林 敏彦、井上 憲治、三木 理司の各氏にお世話いただきました。

○計 報

中川 定典（84）

佐藤 進 (69)

心からご冥福お祈りします。

会員消息

○第 46 回日本光画会「光展」

2012 年 1 月 7 日 (金) ～ 9 日 (日) 阿波銀ホール

佐藤 義雄

○荒井賢治写真展「限界集落 ～ふる里に抱かれて～」

2012 年 1 月 17 日 (火) ～ 23 日 (月) そごう徳島店

2012 年 1 月 21 日 (土) 出版記念会

○第 27 回全日本写真連盟徳島県本部写真展

2012 年 2 月 10 日 (金) ～ 12 日 (日) あわぎんホール 3F

阿部 啓三・井藤 光章・井上 憲治・井上 秀人・上野 照文
大津 勝治・川真田慶治・岸田 義市・久我 千鶴・櫛淵 魏
佐治 孝・佐藤 義雄・滝島 豊美・野藤 敏美・野藤みきよ
橋本 圭祐・橋本 勝・林 敏彦・林 好一・姫田 慎治
姫野 博司・福井 純子・藤川 光昭・古井 謙吉・宮本 幸治
森 賢一・森住 博・矢部 弘子・吉村 敏嗣

○第 43 回ナルトぴんぼけクラブ写真展

2012 年 2 月 10 日 (金) ～ 12 日 (日) キョーエイ鳴門駅前 4F

木田 英之・賀川 泰広・元木 強・武地 雅

○日本風景写真協会 第 6 回徳島支部展

2012 年 2 月 14 日 (火) ～ 19 日 (日) NHK 徳島放送局

岩崎 英昭・吉田 隆之

○第 68 回朝日写真展

2012 年 4 月 13 日 (金) ～ 19 日 (木) 富士フィルムフォトサロン大阪

朝日大賞「円陣」 橋本 勝

○第 9 回写好館クラブ写真展

2012 年 4 月 13 日 (金) ～ 15 日 (日) ヨンデンプラザ徳島 2F ギャラリー

赤尾 壽一・岸田 義市・木田 英之・藤本 英子

○12th.UNIT-D 写真作品展

2012 年 5 月 11 日 (金) ～ 13 日 (日) 阿波銀プラザ

井上 憲治・上野 照文・多川 静守・野口 佳一
橋本 圭祐・林 敏彦・堀口 幸男・増田 寿

○第 37 回 J P S 展

2012 年 5 月 19 日 (土) ～ 6 月 3 日 (日) 東京都写真美術館

入選 井藤 光章

○第2回木田英之と合同クラブ写真展

2012年5月25日(金)～27日(日) 徳島県立近代美術館ギャラリー

赤尾 壽一・賀川 泰広・木田 英之・岸田 義市・武地 雅
高島 武夫・林 好一・福井 純子・藤本 英子

○第18回徳島ライカクラブ写真展

2012年6月1日(金)～3日(日) アミコシビックセンター 3F ギャラリー

山田 勝二

○木田英之/日野繁子 写俳展

2012年6月6日(水)～17日(日) ギャラリーカフェ「Brisa」

木田 英之

○徳島風景写真協会写真展

2012年6月15日(金)～17日(日) アミコシビックセンター 3F ギャラリー

大貝 久義

○第30回記念徳島平和美術展

2012年6月21日(木)～24日(日) あわぎんホール 3F 大展示室

赤尾 嘉一・賀川 泰広・木田 英之・岸田 義市・武地 雅
林 敏彦・姫野 博司・福井 純子・山田 勝二

○第35回写真同人「炎」作品展

2012年6月29日(金)～7月1日(日) あわぎんホール

阿部 圭二・井藤 光章・井上 憲治・川真田慶治・櫛渕 魏・佐治 孝
佐藤 義雄・田村 泰弘・伊達 照子・土橋 成行・野口 佳一
林 敏彦・古井 謙吉・堀口 幸男・森 賢一・矢部 弘子

○第97回東京研展

2012年6月29日(金)～7月6日(金) 東京都美術館

佐藤 義雄・吉村 敏嗣・山口 正明・谷 嘉明

○写団きゆうまる写真展「春の風景」

2012年7月1日(日)～12日(木) 貞光ゆうゆう館

岸田 義市・柳本 正

○第15回英藍アルテ写真展

2012年7月6日(金)～8日(日) 阿波銀プラザ

上野 照文・藤川 光昭

○第13回ニコールクラブ徳島支部写真展

2012年7月13日(金)～15日(日) アミコシビックセンター 3F ギャラリー

阿部 啓三・井藤 光章・川真田慶治・櫛渕 魏
佐藤 義雄・藤川 光昭・古井 謙吉・堀口 幸男
増田 寿・三木 理司・森 光・森 賢一

○第29回サンカ会写真作品展

2012年7月13日(金)～15日(日) アミコシビックセンター 3F ギャラリー

田中 伸廣・森内 昭男

○第60回二科展写真部門

2012年9月1日(木)～12日(月) 東京国立新美術館

会員出品：大和 健司・森住 博

会友推挙：宮前 稔・志摩 育美

入 賞：宮前 稔・富岡佳代子

奨 励 賞：志摩 育美

入 選：秋山 修一・幾田 茂仁・織野 明弘・古字 智子・田中 義孝

平澤 昭世・南 敦子・森内 昭男・山下 修司

○第3回グルッポ・フォト23写真展

2012年9月14日(金)～17日(月・祝) 徳島県立近代美術館 1F ギャラリー

上野 照文・大西 啓子・滝島 豊美・田中 伸廣・吉田 隆之

○第52回徳島写楽会写真展

2012年9月28日(金)～30日(日) アミコシビックセンター 3F ギャラリー

櫛淵 魏・上野 照文・川真田慶治・岸田 義市・櫛淵 紳哉・関口つとむ

滝島 豊美・中川 定典・板東 泰男・古井 謙吉・森 光

○日本風景写真協会 創立10周年記念四国4支部合同写真展

2012年10月2日(火)～7日(日) 香川県文化協会

岩崎 英昭・吉田 隆之

○三好和義写真生活40周年記念「祈りの楽園・四国八十八カ所 ハワイ」

2012年10月10日(水)～15日(月) 徳島そごう 6F

○第59回阿波踊り写真コンクール

10月11日(木)～21日(日) 徳島市阿波踊り会館

推 薦：柳本 正

特 選：福井 邦博・姫野 博司

準特選：古字 智子・大和 章人

入 選：秋山 修・大津 勝治・岡本 早苗・滝島 豊美・田中 義孝

橋本 勝・福井 純子・宮前 稔・森住 孝義

○第3回きらく写真クラブ「風景写真作品展」

2012年10月12日(金)～14日(日) アミコシビックセンター 3F ギャラリー

新居 奏・板東 律雄

○堀口幸男写真展「光への旅」

2012年10月3日(水)～22日(月) アミコ 5F, 6F 徳島市立図書館ギャラリー

○第11回キャノンフォトクラブ徳島写真展

2012年11月1日(木)～6日(火) 阿波銀プラザ

秋山 修一・久保 翠・辻 絹子・野口 道子・橋本 勝

林 好一・宮前 稔・矢部 弘子

○第14回徳島シニアライフクラブ「写真サークル写真展」

2012年11月2日（金）～4日（日） ヨンデンプラザ徳島 2F ギャラリー

大西 啓子・平澤 昭世・平澤 澄子

○第7回写真同人「光」写真展

2012年11月9日（金）～11日（日） アミコシビックセンター 3F ギャラリー

木田 英之・伊達 照子・田村 泰弘・林 敏彦・林 好一

姫野 博司・福井 邦博・福井 純子・福田 勉

○上野照文写真展「役者 椿欣也の世界」

2012年11月24日（土）～12月23日（日） アミコ 6F 徳島市立図書館前ギャラリー

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

◎第20回放美展（平成24年5月2日（月）～6日（金） あわぎんホール）

今年の出展総数は18点（17人）であった。総数としては例年通りの数であった。特に今年は具象作品が多かった。全体的には質的内容にやや物足りなさを感じた。

放美賞に選ばれた大貝寿子さんの“街のあかり”は、「テラコッタによる立体を空間構成としてうまくまとめている秀作。」との評価であった。大小の球状の焼き物を空間に浮かべ、楽しい雰囲気風景を作り出した作品であった。リズム感もあって素材をうまく扱っていた。

次の優秀賞には矢野愛恵さんの作品“トモ”が選ばれた。「この作品には若人の心情と生命感をうまく表現した心ひかれる作品である。」との評であった。

そして、梅岡トヨ賞には長田寛人さんの“夜行人間”が選ばれた。この作品に対しては「しっかりしたモデリングができており、今後の活躍が期待される。」との評価であった。

さらに、阿波銀行賞には個性的な頭像表現をした井上三月さんの“瞑想”が選ばれた。この作品については「たくさんなる頭像作品の中で創造性に富んでおり、入賞にふさわしい作品である。」との評であった。

その他、入選作品の中にもよく練られた作品もあって、次回への期待を込めた感想が述べられた。

（今回の審査は、松永勉、濱口恵、長岡強が務めた）

◎第67回県美術展（平成24年10月13日（土）～21日（日） あわぎんホール）

今回の審査員には行動美術協会会員の湯村光先生にお願いした。今年彫刻部門への出品総数は20点であった。総数では昨年の出品数より5点少ない。そのうち入賞・入選作品には12点が選ばれた。ここ数年、出品数において、彫刻部門ではやや減少傾向にある。この分野にチャレンジする若い力を期待するのであるが、数的な増加は難しいのが現実である。しかし、毎回意欲的に出品を続けている作家の作品レベルは高く、入賞・入選作品の中身は内容の濃い見ごたえのあるものが揃った。湯村先生による審査は、時間をかけて見ていただき、適切な評価をいただいた。また、出品者に対しては丁寧なアドバイスがされたのも好評であった。

審査評としては、「社会的関心が高い東日本大震災をテーマにしたものがいくつか見受けられた。震災を悲しむ気持ちを表した作品のほか、進まないがれきの処理などに対する風刺のような作品もあり、印象的だった。審査の基準にはまず作品を通して作者の思いが伝わってくる基本的な表現力があること、次に見る者を引きずりこみ楽しませる力があること、さらに独創的であること、が挙げられる。この3点を意識した。」と述べられた。

特選（四国放送社長賞）に選ばれた武田亜希子さんの作品“reflection”は、「空間意識が非常に爽やかなことが特長として挙げられる。白と青の色使いもすがすがしく気持ちがよい。まさ

しく見る者を楽しませる作品と言える」との評価をいただいた。武田さんはこれまで県展で何度も受賞を重ねている。特に最近積極的に制作活動を行い、自分のスタイルを確立して発表を続けている。鉄板を自在に扱い空間をバランスよく構成する技術は素晴らしく上手である。近作では着色を生かし、さらに作品の幅を広げている。これからの活躍を期待したい。

準特選の益田耕次さんの作品“希望”は、「対象である人体に対しての素直さが魅力的。固定的な観念だけで作るのではなく、実際に見た形を素直に表現しているのが分かる。人体の優しさがよく表われていた。」との評価であった。益田さんは全身の人体像を丁寧に仕上げ独特の味のある具象作品を制作している。作り手の気持ちが作品から漂う力作であった。今後も続けてさらに発展させてほしい。

次に、同じ準特選に選ばれた東光司さんの作品“刻まれた風景 2012”は、「石の持つ力強さや量感が印象深い。中をくりぬくことでバランスの良さが際立った。」と言われた。東さんは県展で長い間活動している彫刻家である。今回は小品だが素材の石を複雑に切り込んで組み立てる独自のスタイルを作り出している。技術的にはすばらしいものを持っているため、さらに研鑽を積み制作されることを期待したい。

全体の評としては、「全体的に期待していた以上の力作が多く、落選になった作品の中にも入選に繰り上げたい作品が数点あった。今後も対象とじっくり向き合う姿勢を大切にして、説得力のある作品を作ってほしい。」と話された。

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	1月	個展	そごう徳島店美術画廊
	6月	鹿児島県枕崎市に作品設置	枕崎市
	9月～10月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	10月～11月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展 in 相生	那賀町あいあいランド
	11月	藍住町地福寺に「ちょっとまってくれ～猫の音楽隊」設置	藍住町地福寺
井下 俊作	9月	第67回行動美術展 会員出品	国立新美術館
	9月～10月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	第67回行動美術展 大阪巡回展	大阪市立美術館
	10月～11月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展 in 相生	那賀町あいあいランド
大津 文昭	9月～10月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
河崎 良行	1月	日本美術家連盟四国地区在住会員展	阿波銀プラザ
	4月	2012 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	8月	第27回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10月	第66回二紀展	国立新美術館

	11月	二紀巡回展 名古屋展	愛知県美術館
	11月	二紀巡回展 京都展	京都市美術館
鎌田 邦宏	1月	日本美術家連盟四国地区在住会員展	阿波銀プラザ
	2月	鎌田邦宏個展「旅の途中」	桜茶屋 2F 桜ギャラリー
	4月	2012 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	6月	2012 現代彫刻小品展	島根県太田市町並み交流センター
	8月	第 27 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10月	第 66 回二紀展	国立新美術館
	12月	鎌田邦宏個展「赤と黒」	ギャラリー喫茶グレイス
木村 大志	4月	2012 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	8月	第 27 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10月	第 66 回二紀展 準会員推挙	国立新美術館
	11月	阿波和紙とアートとの出会い展	山川町阿波和紙伝統産業会館
上月 佳代	1月	日本美術家連盟四国地区在住会員展	阿波銀プラザ
	2月	第 40 回徳島市芸術祭美術展	あわぎんホール
	4月	2012 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	8月	第 27 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10月	第 66 回二紀展	国立新美術館
佐藤 隆	9月～10月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
武田亜希子	4月	2012 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	8月	第 27 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10月	第 66 回二紀展	国立新美術館
	10月	個展	みゆき画廊・東京銀座
長岡 強	4月	第 42 回日彫展 会員出品	東京都美術館
	11月	第 44 回日展 会員出品	国立新美術館
濱口 恵	2月	第 44 回モダンアート徳島支部展(木版画)	阿波銀プラザ
	9月～10月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
林 一美	2月	同好会作品展	ホテルサンシャイン
	4月	彫刻展	NHK 徳島放送局 1F ロビー

東 光司	2月	第44回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ
	3月	第5回神山麗し作品展	神山町
	4月	第62回記念モダンアート展	東京都美術館
	4月	第62回記念モダンアート展・京都展	京都市美術館
松永 勉	1月	第40回徳島市芸術祭美術展 特別出品	あわぎんホール
	1月	日本美術家連盟四国地区在住会員展 2012	阿波銀プラザ
	3月	マンションクリオ西国立に「生まれいずる生命」設置	東京西国立
	3月	マンション Brillia 宮前平に「風景のはじまり」設置	東京宮前平
	4月	現代彫刻小品展 in 浜田に出品	浜田市こども美術館・島根県
	6月	2012 現代彫刻小品展・石見銀山出品	島根県太田市町並み交流センター
	9月	第67回行動展 会員出品	国立新美術館
	9月～10月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	9月	全国現代クラフト展・特別出品	あわぎんホール
	10月	第67回行動展 大阪巡回展 会員出品	大阪市立美術館
	10月	オリエ 30周年記念展・PART II 出品	東京ギャラリーオリエ
	10月～11月	50周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展 in 相生	那賀町あいあいらんど
	12月	大塚製薬川内第2工場に「Landscape」設置	徳島市川内町
	12月	第25回UBE ビエンナーレ模型入選	山口県宇部市

美術工芸部

部会長 七 條 猪三郎

年間展望

◎第 20 回放美展 平成 24 年 5 月 2 日（水）～5 月 6 日（日）あわぎんホール

平成 24 年（2012 年）第 20 回放美展美術工芸部門は、応募点数は昨年と同数の 157 点、陶器が 82 点で過半数を占め、つぎに押し花、パッチワークが多かった。

審査員全員で各作品の完成度、オリジナリティーを重視して審査にあたった。

今回は平面作品、特にパッチワークの力作が目立った。それぞれの作品に制作過程で素材の特性を生かし、技法の良さを生かすのに苦心のあとがうかがえた。

放美賞の鈴江美佐「天使のはしご（パッチワーク）」は雲間のグレイとピンクの微妙な濃淡の布を見ごとに使い分けた力作である。

優秀賞には陶器 3 点、パッチワーク 1 点、押し花 1 点、木竹 1 点だった。

優秀賞 6 点の中では、特に南泰樹の「紫釉花器」は、ホルムと文様が斬新で好感が持てた。今後の展開を期待したい。

押し花の作品が増えたものの、全体的に小ぶり、作品をより大きくして、習作にとどまることなく伸びやかな作品を希望したい。

地場産業である藍染や木竹の作品が減少傾向にあるのは残念である。

（審査員 松下雄介・森賢一・多智花佐代子）

放美賞	鈴 江 美 佐	「天使のはしご」	（パッチワーク）
優秀賞	大 貝 寿 子	「蛭」	（陶芸）
〃	久 保 秀 樹	「象嵌彩色花器」	（陶芸）
〃	近 藤 佐起江	「青を奏でる」	（押し花）
〃	東 條 容 子	「スターダスト」	（パッチワーク）
〃	南 泰 樹	「紫釉花器」	（陶芸）
〃	中 西 達 也	「杉柁貼り文書箱」	（木）
梅岡トヨ賞	石 本 都幾乃	「春の中の輝き」	（押し花）
阿波銀賞	前 田 一 美	「碧のかなたへ」	（パッチワーク）

◎第 67 回県美術展 平成 24 年 10 月 13 日（土）～10 月 21 日（日）あわぎんホール（県郷土文化会館）

平成 24 年（2012 年）、第 67 回県美術展、美術工芸部門の応募点数は 192 点

出品者は 129 人で、昨年の出品数より 11 点少なかった。

分野別にみると、陶芸が昨年と同じように最多で 84 点で次にパッチワーク、押し花、染織、ガラス、七宝金工、木竹、かずら、人形など多くの分野の作品が出品された。

審査は9月30日の予定だったが台風17号の影響で審査員が来県できず10月2日になった。今回の審査員は東京芸術大学学長・日本芸術院賞の宮田亮平先生にお願いした。

審査は厳正を極め、午後1時から5時まで丁寧に審査にあたっていただいた。最初に入選115点を選び、その中から賞候補を約20点選び、そこから最終的に特選2点（1点は県美術家協会会長賞）、準特選4点、奨励賞3点、国文祭賞1点を決定した。入選作品115点（入選率59.3%）に無審査作品12点を加えて127点が展示され盛況となった。

審査員の総評は、徳島の県展を審査するのは3度目だが、作品のレベルは次第に上がっている。意欲的な作品が多く、審査していて気持ちがよかった。ジャンルもバラエティーに富み、それぞれにきらりと光るものがあった。作品と題名の関係が心地よいものも多かった。審査基準は、素材の特性を知り、表現したいものが確実に出ているかを重視した。作品には内面的な気持ちや心など自分の表現したいものを出してほしい。作品の素材は何であっても、創造性が大切である、手芸的ではいけない、土産物ではいけない。

県美術家協会会長賞の楠博子「そよそよとゆらゆらとⅡ」（パッチワークキルト）は自分の表現したいものがよく表されている。モチーフは熱帯性の植物と思われるが、色はむしろ冷たい感じで、ギャップが面白い。何本もの植物という幾つもの生命を一つに表すとき、さまざまな色を使いたくなるが、この作品は寡黙で上品さがある。

特選の今川博臣「絆」（金工）は、七宝と緑青の使い方、バランスがいい。魂が血管でつながっているようで、絆の大切さを感じる。作品だけでなく題名を知ること、よりいいなと感じる。

制作に当たっては、まず素材と仲良くなり、ないがしろにしないことが大事。

素材と技法の良さを生かし、造形美とオリジナリティーにあふれた作品、見る人に訴えるものがある作品を作してほしい。

宮田亮平先生には、今回の厳しい審査の裏には、心温まるご激励やご指導に、改めて深甚の謝意を表し、今後の発展の糧としたい。

特選	楠 博 子	「そよそよとゆらゆらとⅡ」（パッチワーク）（県美術家協会会長賞）
〃	今 川 博 臣	「絆」（七宝金工）
準特選	吉 田 陽 子	線文壺「晩秋の渦」（陶芸）
〃	木 田 サチコ	「絆」（かずら）
〃	青 木 壽 美	「鳴門海峡」（押し花）
〃	松 本 宏	「波の緒Ⅴ」（陶芸）
奨励賞	原 田 明 實	「森羅万象」（染）
〃	喜 多 岩 夫	「文箱」（木）
〃	小 林 鳳 美	「大和なでしこ」（人形）
国文祭賞	近 藤 美佐子	「阿波の踊り子」（染）

会員消息 (県展・放美展関係は除く)

天野 和子	・第 51 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・もめんの詩パッチワークキルト展	4 月	オーストラリア(メルボルン)
	・第 40 回全国公募県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 30 回もめんの詩パッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
大貝 貞雄	・第 40 回徳島市美術展(無鑑査)	1 月	あわぎんホール
	・第 40 回県手工芸展(県議会議長賞)	11 月	あわぎんホール
	・第 21 回高越陶芸クラブ展	12 月	貞光ゆうゆう館
大貝 寿子	・第 40 回徳島市美術展(無鑑査)	1 月	あわぎんホール
	・第 40 回県手工芸展(賛助出品)	11 月	あわぎんホール
	・第 21 回高越陶芸クラブ展	12 月	貞光ゆうゆう館
太田 裕子	・H 24 文化庁委託きもの・藍・しじら展	10 月	長尾織布
	・藍染しじらきもの作り体験教室	10 月	県福祉センター
大西 道夫	・第 5 回神山麗し作品展	3 月	東石材店
	・平成 24 年度全国現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
越 由子	・第 51 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 30 回ふう布パッチワークキルト展	10 月	アミコシビックセンター
	・第 10 回東吉野パッチワークキルト展	11 月	阿波銀プラザ
	・第 50 回現代工芸美術四国展	11 月	高松三越
齊藤 和彦	・日本七宝作家協会国際展(佳作)	7 月	東京都美術館
西 浩子	・第 3 回徳島女流美術展	5 月	あわぎんホール
田村 純子	・第 34 回日本新工芸展	5 月	国立新美術館
	・第 34 回日本新工芸近畿展(京都新聞社賞)	5 月	京都市美術館
	・第 44 回日展	11 月	国立新美術館
内藤 久子	・2012 A Q S 28 t h キルト展	4 月	USAパチュウカエキスポセンター
平井 恵子	・第 51 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 51 回日本現代工芸美術展近畿展	5 月	京都市美術館
	・第 63 回大津市美術展(無鑑査)	6 月	大津市歴史博物館
	・第 44 回滋賀県工芸美術展	10 月	滋賀県近代美術館
	・かんじる比良 2012 作家展	10 月	近江舞子森の家
	・第 44 回日展	11 月	国立新美術館
	・第 44 回日展京都展	12 月	京都市美術館
藤井 哲信	・藤井哲信「藍のガラス展」	6 月	ならまちギャラリー
	・藤井哲信「阿波の音色」展	8 月	バンサンコーヒー店
	・第 52 回日本クラフト展	12 月	東京丸ビルホール
松下 慶一	・松下慶一作陶展	4 月	高松三越
丸居 哲雄	・ゆるい展	3 月	文化の森

	・エナジー 2012	10月	文化の森
	・町民文化祭	11月	上板町中央公民館
森 賢一	・第51回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第44回日展	11月	国立新美術館
	・第50回現代工芸美術四国会展	11月	高松三越
矢野 款一	・日本伝統工芸展	5月	東京三越
	・古稀記念展	11月	徳島そごう
	・日本工芸会四国支部展	11月	高松三越
吉田 陽子	・徳島女流美術展	5月	あわぎんホール
	・陶芸文化振興財団展（理事長賞）	6月	国立新美術館
四十宮年代	・第40回徳島市美術展（特別出品）	1月	あわぎんホール
	・第41回歳末チャリティー展	12月	徳島そごう
吉田 真弓	・かかみがはらキルト展	3月	岐阜県産業文化センター
	・第30回もめんの詩展	11月	あわぎんホール
龍木 秀子	・第51回現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第44回日展	11月	国立新美術館
横井嘉世恵	・第40回徳島市美術展（招待）	2月	あわぎんホール
	・中国・四国・九州押し花アート展 2012	5月	愛媛県立美術館
	・宮本薫グループ展	10月	阿波銀プラザ
矢野 藍游	・平成24年度現代クラフト展（優秀賞）	9月	あわぎんホール
多智花佐代子	・第51回日本現代工芸美術展（NHK会長賞）	4月	東京都立美術館
	・第44回日展	11月	国立新美術館
	・第50回現代工芸美術四国会展	11月	高松三越
田村 佳代	・伝統工芸士試験合格	12月	
小栗加代子	・第51回日本現代工芸展	4月	東京都美術館
	・第30回もめんの詩パッチワークキルト展	4月	メルボルン博覧会館
	・巨大PW曼陀羅キルト展	10月	カトマンズ国立サッカー場
	・第44回日展	11月	国立新美術館
	・インターナショナルキルトウイーク横浜	11月	横浜国際展示場

書道部

部会長 荒井 彭 仙

年間展望

◎第20回放美展（5月2日（水）～6日（日）あわぎんホール）

応募数 211 点、出品者数 166 名（前回 192 点、166 名）であり、人数は前回と同数となったが点数は 2 点出品者により、19 点の増加となった。

今回も高校生の応募は 3 分の 1 を占め、出品だけでなく、搬入手続・搬出業務も自らで行うなど放美展ならではの光景がみられた。

今回は放美賞 1 点、優秀賞 8 点、梅岡トヨ賞 1 点、阿波銀行賞 1 点、入選 100 点と役員を含めて 120 点の展示となった。

（梅岡トヨ賞は 19 回展に新設された高校生対象の賞）

（阿波銀行賞は 20 回展に新設された全出品者対象の賞）

一審査員：能仁華瑤・河野真流・荒井彭仙一

◎第67回県美術展（第2期10月23日（火）～30日（火）あわぎんホール）

今回の応募数は 816 点、出品者数 515 名（前回 856 点、542 名）であり、40 点、27 名の減となった。出品数の減少は切実な問題であるものの、その減少ムードを払拭するように今回の出品作品には将来性のある好奇心をのぞかせた作風が目立ったようである。

審査員は西村自耕・岩永栖邨・西野象山の三先生で、審査の結果、入賞を含む入選数は 359 点（入選率 44%）であった。

「上下への運筆に無理がなく、きちっと重心を通したもの。流動する中で縦画と横画の役割が程よく果たされているもの。それぞれの分野でその表情に特異性をもったもの。」などが審査の観点の一つとして取り上げられた。今後は心技のバランスをはかりながら出来上がった基礎を決して崩さず、素直さを生かした研鑽を望まれた。

展示総数は、特別出品・招待・無鑑査・賛助出品・遺作の 47 点を加えて 406 点が全期間展示された。

◎社中展・個展等

○第2回三塊書展	阿波銀プラザ	1月13日 ~ 15日
○第3回チャレンジ徳島芸術祭	近代美術館	1月17日~ 22日・3月17日~ 18日
○第36回東玄書道会展	阿波銀プラザ	1月27日 ~ 29日
○第27回正鋒会書展	あわぎんホール	2月17日 ~ 19日
○第32回書研社展	あわぎんホール	2月24日 ~ 26日
○第8回玲光会展	あわぎんホール	3月 2日 ~ 4日
○第46回書道研究清潮書作展	あわぎんホール	3月 9日 ~ 11日
○徳島大学書道部OB会書作展	ガレリア新蔵	3月16日 ~ 18日
○第9回五果会書道展	あわぎんホール	3月30日 ~ 4月1日
○第25回長玄書道会展	あわぎんホール	4月 6日 ~ 8日
○第6回幽の会書展	県立文学書道館	4月13日 ~ 15日
○第19回歌の会書展	あわぎんホール	6月15日 ~ 17日
○第39回双暢会書展	県立文学書道館	6月15日 ~ 17日
○第4回流輝会展	あわぎんホール	7月 6日 ~ 8日
○松林会書展	阿波銀プラザ	7月13日 ~ 16日
○第35回泉心会書作展	阿波銀プラザ	7月27日 ~ 29日
○新居藍州遺作展	あわぎんホール	8月31日 ~ 9月2日
○第1回青藍会書作展	あわぎんホール	8月31日 ~ 9月2日
○第42回直心会書展	あわぎんホール	8月31日 ~ 9月2日
○第11回一心会書展	徳島市シビックセンター	10月19日 ~ 21日
○第24回睦月会書展	徳島市シビックセンター	10月19日 ~ 21日
○第8回向井京子三代書展	脇町うだつ時代屋ギャラリー	11月 1日 ~ 30日
○松茂町文化祭	松茂町総合会館	11月10日 ~ 11日
○第18回六書会書展	ヨンデンプラザ徳島	11月16日 ~ 18日
○第4回春琴とその仲間たち展	徳島市シビックセンター	11月17日 ~ 19日
○第16回せゝらぎ書展	徳島市シビックセンター	11月23日 ~ 25日
○吉野川市書人会展	吉野川文化研修センター	11月23日 ~ 25日
○第35回臨池書展	徳島市シビックセンター	12月 1日 ~ 2日
○第76回書芸院展	あわぎんホール	12月 6日 ~ 9日
○第17回尚真書展	あわぎんホール	12月14日 ~ 16日

会員消息 (県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者 (平成 24 年 1 月から 12 月) 順不同

○第 53 回太玄会書展 (誌上展 1/7 ~ 8)

第 48 回太玄会役員書展 (東京セントラル美術館 5/8 ~ 13)

理事・実行委員 近藤静苑・田村昇鶴・中尾勝子・富久鳴泉

理 事 岡島順子・下村清子・南 溪石

審 査 会 員 大塚秀峰・木村弘子・瀬藤豊子・廣島白鷺

太 玄 賞 田上洋香

○第 43 回正筆会 菁華書作展 (東京銀座画廊美術館 1/19 ~ 22)

常任総務理事 亀石文苑

総 務 理 事 竹田和代

○第 43 回現代女流書 100 人展 (日本橋高島屋 1/31 ~ 2/6)

玉城乾香

○第 66 回日本書芸院展 (大阪市立美術館 2/14 ~ 19、4/10 ~ 15、6/26 ~ 7/1)

(大阪国際会議場 3 階 4/17 ~ 22)

参 与 東 南光・薄田玲泉

評 議 員 能仁華瑤

一科審査会員 東 弥生・矢部知子・青木東原・福永美泉・河野真流・森 光翔
宮守崇流・上田輝芳・向井京子・清水桂月・八木藍玉

二科審査会員 川村春琴・安原照代・稲木裕美・赤川景舟・山本景琴・井上虹雨
倉本景雨・遠藤玉流・加村喜美子・長谷美峰・竹田和代・片山芳明
谷口清水・後藤佳美・横田典子・阿部博子

史 邑 賞 矢部知子・亀石文苑・辻 紅雲

大 賞 安原照代・竹田和代・松永翠月・東野蕙秀

特 別 賞 日下真宏・松本景芳・河野多美・佐野陽子・中川瑞泉・皆谷芳穂
松本トキ子・戸出浩子・中西瑤汀

準 特 別 賞 熊代厚子・丸岡春暁

特 選 河見踏春・林 美雪・住友春陽・井上智世・杉本裕子・森 美佳

一科会員推薦賞 一宮堆川・大本華越・中口美都里・原田美穂

二科会員推薦賞 岡部比登美・脇谷万里恵・呉羽光恵

○第 48 回創玄展 (国立新美術館 3/8 ~ 19)

一 科 審 査 員 荒井彭仙・長原皐聖・玉城乾香・浜 佳香

二 科 審 査 員 永松春苑・芝原醒鶴・多田清芳・岩本志豪

審査会員 吉田和婉・朝三臯如・山口幽径・丸岡香貞・平岡幽琴・岸 緑香
長原臯月
特選 佐藤恵和
秀逸 高瀬大峰・小野宙成・玉城乾舞・仁木志香・芦谷后子・武田玲香
二科賞 松島 宏
準二科賞 吉野美苑・横関煌香

○徳大書道部OB会書作展（ガレリア 3/16～18）

顧問 春藤大耿

○第47回雪心会展（奈良県文化会館 3/21～25）

雪心会賞 吉村敬子

○第35回日本かな書展（東京日本橋高島屋 5/23～28）

副理事長 藤若美風

審査会員 三浦富美代

正会員 長谷美峰

○第40回日本の書展（大阪国際会議場 5/24～27）

招待 東南光・春藤大耿・能仁華瑤・玉城乾香・清水桂月・薄田玲泉
秀抜選 川村春琴・竹田和代・武市鳴雲・浜 佳香・永松春苑・河野真流
上田輝芳・赤川景舟・井上虹雨・倉本景雨・宮守崇流・森 光翔
山本景琴

○第36回由源全国書道展（マイドーム大阪 5/26～28）

常任無鑑査 川村春琴

常任委員 谷 玲琴

委員 土井和翔・丸岡春暁

幹事 中村春岳・満寿川愛弓

塩川正十朗顧問賞 丸岡春暁

○第30回日本詩文書作家協会展（東京セントラル美術館 6/5～10）

評議員 荒井彭仙

準会員 岡崎啓香

○第50回水穂書展（京都市美術館 6/22～24）

常任理事 向井京子・東 弥生

○第8回寒玉書道会選抜展（大阪マルビル大阪第一ホテル 6/23～25）

常任総務 長谷美峰

○第64回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/26～7/1）

副理事長 薄田玲泉

常任総務 河野真流・上田輝芳・宮守崇流

常任理事 赤川景舟・井上虹雨・倉本景雨・佐川菁流・竹内虹舟・森 光翔
山本景琴・井上景玄・遠藤玉流・背川景玲・松本景芳

○第26回玄心書道展（兵庫県立美術館原田の森ギャラリー 6/28～7/1）

総務理事 辻 紅雲

玄心賞 東野蕙秀

○第52回墨滴会全国書道展（奈良県文化会館 7/9～11）

常任委員 戸出浩子

○第64回毎日展（国立新美術館 7/11～23）

（愛媛県立美術館 8/15～19）

審査委員 荒井彭仙・玉城乾香

会 員 長原皐聖・芝原醒鶴・永松春苑・岩本志豪・吉田和婉・浜 佳香
多田清芳・平岡幽琴

佳 作 坂尾竟成・玉城乾舞・長原皐月

○第29回読売書法展（国立新美術館 8/24～9/2）

（サンメッセ香川 11/9～11）

理 事 清水桂月・東 南光・東 弥生・能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流
上田輝芳・亀石文苑・宮守崇流・辻 紅雲

幹 事 林 美雪・川村春琴・福永美泉・倉本景雨・竹内虹舟・佐川菁流
井上虹雨・山本景琴・井上景玄・遠藤玉流・長谷美峰・竹田和代
駒田水洗・背川景玲・松本景芳・東野蕙秀

評 議 員 河野多美・佐野陽子・皆谷芳穂・加村喜美子・内田麻紀・阿部博子
松永翠月・赤川景舟

読売俊英賞 林 美雪・森 光翔

奨 励 賞 松永翠月

特 選 高柳早秀

秀 逸 岡部比登美・向井境子・青木東原・大本華越・後藤佳美・楠瀬彩流
佐藤翔流・廣瀬蕙花・折野佳子・中西瑤汀

○第28回国際蘭亭筆会展（ベトナム奇龍美術館 11/24～30）

日本部理事長 東 南光

○第44回日展（国立新美術館 11/2～12/9）

入 選 東 南光・能仁華瑤・福永美泉・薄田玲泉・亀石文苑・辻 紅雲
向井京子・八木藍玉・佐野陽子・青木東原・川村春琴・森 光翔
井上景玄

○第 52 回環社展（大阪市立美術館 11/27 ～ 12/2）

顧	問	春藤大耿
参	事	清水桂月
参	与	東 南光・駒田水洗・谷口清水・豊浦春光・松本深翠・馬淵直枝 春藤玉秀
常 任 理 事	事	能仁華瑤・八木藍玉・武市鳴雲・松永翠月・横田典子・馬居汀香 河野多美・林 美雪・岡島朱伯・片山芳明・野口有香・花本清香 鈴木惠理・田上洋香・弘田長風・石井祥洸・伊藤景風・河野美鶴 永岡光翠
評 議 員		大本華越・恵美春陽・岡部比登美・上田美智・北村浩子・園尾恵風 谷本真由美・長尾愛香・前川林谷・中西瑤汀・佐野陽子
特 別 賞		磯川味佳・奥田翠香・高柳早秀
優 秀 賞		伊達静蘭・足利元子・山崎真美・松本観翠・鎌田草舟・辻 光石
会 員 賞		益岡輝美
特 選		高橋信華・一宮堆川・島 祥瑤・弘田 彩
佳 作		三木悠洸・三好須光・佐川美寿・佐滝泉月・山口暢晃・山口南香 峯野智鶴

○第 64 回正筆展（兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー 12/8 ～ 9）

常任総務理事	亀石文苑
総 務 理 事	竹田和代
常 任 理 事	加村喜美子・内田麻紀・齋藤弥生・阿部博子
準 大 賞	折野佳子

○第 34 回日本書道学院展（東京都美術館 12/13 ～ 19）

審 查 員	赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・皆谷芳穂・河野真流 倉本景雨・佐川菁流・薄田玲泉・背川景玲・竹内虹舟・宮守崇流 森 光翔・山本景琴・遠藤玉流
大 賞	高橋芳琴
準 大 賞	松本景芳
特 別 賞	廣瀬蕙花
特 選	野木秀華

デザイン部

部会長 田 中 一 郎

年間展望

◎第20回放美展（5月2日（水）～6日（日）あわぎんホール）

出品点数98点、出品人数94人。昨年より15点減少した。内、高校生が90点、87人で全体の92%を占めた。昨年の高校生の出品割合が85%ということを見ると一般の方の出品が減っているという現実が見えてくる。これもまた、憂慮すべき問題となりそうである。

審査員には、美協デザイン部より福井 章、敷島のり子、四十宮隆志の3名を予定していたが、都合により急遽、福井 章と四十宮隆志の2名での審査となった。

放美賞には、谷中咲慧「ボーダレス」が、国や人種の境を取り払うという難しいテーマながら、イラストの楽しさに加え、伝えたいことをストレートに表現できている点が評価された。優秀賞には、東 早紀「I LOVE NATURE 2012」、梅津洋子「ハリセンボンより花千本」、小川菜々「時、巡る、命。Vol.2」、斎藤真梨子「The application of heat」が選ばれ、昨年より新設の梅岡トヨ賞には、久米紗代「個性」が、そして、今年新設の阿波銀行賞には池北葉月「Let's go to the future」がそれぞれ選ばれた。他に入選36点が選ばれたが、全体的には環境や社会問題についてのメッセージ性の強い作品が数多く出品されていたのが印象的であった。

入賞、入選計43点に加え審査員2名と放美展運営委員の吉本 實、美協理事の坂本三千一、沢口 功の作品を併せて計48点が展示された。

◎第67回徳島県美術展（第1期 10月13日（土）～21日（日）あわぎんホール）

ここ数年、出品点数の低迷に頭を悩ませているが、第67回展は昨年と同数の61点（41人）の出品を得、減りはしなかったものやはり不安の残る幕開けとなった。審査員には日本グラフィックデザイナー協会運営委員で、年代を問わず分かりやすいデザインで定評のある新村則人氏をお迎えし、特選2点（うち1点は徳島県議会議長賞）、準特選3点、奨励賞3点、国文祭賞1点、入選29点の計38点を選出していただいた。

特選（徳島県議会議長賞）には、佐々木奏美「考察Ⅰ」が「日常の中に幸せはある。」というキャッチフレーズとモノトーンのグラフィックが一致して強いメッセージを発しており、全体の完成度の高さが評価された。特選の亀川苑花「揺り籠の天使」は、マンガチックなイラストレーションで細かく丁寧な筆遣いが魅力的な作品と評価された。準特選には、林 敏雄、宮田さくら、溝渕加奈、奨励賞には和泉早紀、東 早紀、島原小夏、国文祭賞には三木真由美がそれぞれ受賞した。他に部会員の斎藤志津子が入選した。

新村則人審査員からは「グラフィックだけでなく、キャッチフレーズを加えればメッセージを伝えやすい。日頃から問題意識を持っていろいろなものを観察し、常に「こんな作品ができるかな」と意識してほしい。」とのアドバイスをいただいた。入賞、入選に加え、特別出品の坂本三千一、田中一郎、招待の斎藤繁次、坂野美恵子、敷島のり子、無鑑査の斎藤剛、四十宮

隆志の7点を併せて、計45点が展示された。

会員消息 (県美術展・放美展関係は除く 2012.1～12)

■坂野美恵子

- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」出品
(於：しんまちボードウォーク)
- 4月 平成24年度春期二科展(会員出品)(於：東京都美術館)
- 8月 第97回二科展デザイン部(会員出品)(於：東京国立新美術館)

■坂本三千一

- 10月 徳島ビジネスチャレンジメッセ2012見学(於：アスティとくしま)
- 10月 第27回国民文化祭とくしま2012 総合フェスティバル招待出席
(於：アスティとくしま)

■沢口 功

- 2月 第40回徳島市芸術祭美術展 審査員出品(於：あわぎんホール)
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」出品
(於：しんまちボードウォーク)
- 12月 第41回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品
[徳島新聞社会文化事業団](於：そごう徳島店)

■敷島のり子

- 1月-12月 第27回国民文化祭・とくしま2012
デザインプロジェクトメンバー参画 [第27回国民文化祭徳島県実行委員会]
- 1月 第10回世界ポスタートリエナーレトヤマ2012(2点出品)
(於：富山県立近代美術館)
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」企画開催/出品
[ポスターギャラリー実行委員会](於：しんまちボードウォーク)
- 6月 徳島県立中央病院新ロゴマークコンペ参加(4案出品)
- 10月 第27回国民文化祭・とくしま2012 関連イベント 国際野外ポスター展「スマイル展」企画開催 [ポスターギャラリー実行委員会](於：徳島県立近代美術館)

■田中 一郎

- 12月 ヴォーカルグループS o l eコンサート「カヴァレリア・ルスティカーナ」
ポスター、チラシ、チケット、プログラム表紙デザイン(於：鳴門市文化会館)

■西林 良枝

- 2月 第40回徳島市芸術祭美術展 デザイン部門 特別出品（於：あわぎんホール）
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」出品
（於：しんまちボードウォーク）
- 9月 「扉を開ければ魅惑のインド」ポスター、パンフレット表紙デザイン
（於：羽ノ浦町コスモホール）

■福井 章

- 3月 徳島新聞連載の「阿波路イラストぶらり旅」終了
絵と文をまとめて本にするため準備中 2013年春に出版予定
- 12月 第41回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品
[徳島新聞社会文化事業団]（於：そごう徳島店）

■三木由佳里

- 1月 第40回徳島市芸術祭美術展 デザイン部門・無鑑査出品（於：あわぎんホール）
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」出品
（於：しんまちボードウォーク）
- 12月 第41回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品
[徳島新聞社会文化事業団]（於：徳島そごう）

■吉本 實

- 1月-12月 第27回国民文化祭・とくしま 2012
デザインプロジェクトメンバー参画 [第27回国民文化祭徳島県実行委員会]
- 1月 第40回徳島市芸術祭美術展デザイン部門・特別出品（於：あわぎんホール）
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」出品
（於：しんまちボードウォーク）
- 10月 国民文化祭分野別フェスティバル事業・県民文化祭開催委員会事業
第67回徳島県美術展ポスター・チケット・図録表紙のデザイン制作
[徳島県美術家協会・徳島新聞社]
- 10月 徳島県花基金事業 2013年版「とくしま花へんろポスターカレンダー」
アートディレクション・デザイン制作 [徳島県観光協会]
- 12月 第41回歳末チャリティ作品・色紙即売展出品
[徳島新聞社会文化事業団]（於：徳島そごう）

■四十宮隆志

- 1月 第10回世界ポスタートリエナーレトヤマ 2012 3点出品
（於：富山県立近代美術館）
- 4月 命の未来を想う～ポスター展と暮らしの提案～出品

- (於：愛知県岩倉市生涯学習センター)
- 4月 はな・はるフェスタ in 徳島 2012 野外ポスター展「スマイル展」出品
(於：しんまちボードウォーク)
- 6月 JAGDA日本グラフィックデザイナー協会通常総会 2012 出席
(於：富山県国際会議場)
- 6月 世界ポスタートリエナーレトヤマ 2012 開会式・内覧会出席
(於：富山県立近代美術館)
- 6月 徳島県立中央病院 新ロゴマークコンペ参加 (4案出品)
- 8月 どきん4～イメージフォトクラブ展 グラフィック作品5点出品
(於：阿波銀プラザ)
- 8月 第14回広島国際アニメーションフェスティバル 2012 レセプション参加
(於：アステールプラザ&ウェルシティ)
- 12月 第41回歳末チャリティ作品・色紙即売展 5点出品
[徳島新聞社会文化事業団] (於：徳島そごう)

あ と が き

春の美術展第20回放美展が5月2日(水)から6日(日)まで、秋の美術展第67回徳島県美術展の第1期が10月13日(土)から21日(日)まで、第2期が10月23日(火)から30日(火)まであわぎんホール(県郷土文化会館)で開催されました。

放美展では女性が4部門で放美賞を受賞するなど今年も女性の活躍が目立ちました。また、阿波銀行からは放美賞、優秀賞に続く賞として、各部門に1点阿波銀行賞をいただきました。

第67回徳島県美術展は、9月30日の搬入日が大雨となり一部審査日を変更するなど少々混乱しましたが、今回は全国初となる2度目の国民文化祭と協力し、第27回国民文化祭・とくしま2012分野別フェスティバル事業として、国文祭のテーマ(阿波おどり、藍染、人形浄瑠璃、交響曲第9番)にちなんだ優れた作品、郷土をテーマにした優れた作品、もしくは将来性が期待される優れた作品の何れかの作品に、7部門それぞれの審査員に各部門1点の国文祭賞を選考していただきました。

両展覧会とも会員をはじめとする関係者の御協力におきまして、無事に終えることができたことに心から御礼を申し上げます。

年報の編集にあたっては今年度から年報の掲載を展覧会順に変更しました。各部会の動向については部会長から1年間の活動や会員の消息をいただきましたが、会員の方で掲載したい情報がある場合は、原稿の締め切り前に各部会長と御相談くださるようお願いいたします。

また、今年度に後援規定を制定しましたので、今回の年報に申請書様式を掲載しました。後援依頼の際に御活用ください。

なお、今年の年報の表紙は、日本画部の土方るみ子氏に御尽力いただきました。極限まで無駄を省き現在にして新しく感じるすばらしい原画の御提供をありがとうございました。

最後に会員の皆様には健康に留意されまして、ますます創作活動に励まれますよう御祈念いたします。今後も徳島県美術家協会の発展のために、会員皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

平成25年3月

徳島県美術家協会事務局

美術年報 2013年

平成 25 年 3 月 30 日 印刷

平成 25 年 3 月 31 日 発行

編集者 西野和男

装幀者 土方るみ子

発行人 河崎良行

印刷 星印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市丈六町八斗代 7-6 西野方
